

令和2年度
文部科学省委託調査

令和2年度「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」

調査報告書

令和3年3月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

目次

第1部 調査結果

第1章 調査概要	2
1-1 調査目的	2
1-2 アンケート調査概要	2
1-3 ヒアリング調査概要	4
1-4 調査検討委員会	5
1-5 主な結果	6
第2章 アンケート調査結果	7
2-1 自治体における電子書籍の導入・取組状況	7
2-2 公立学校における電子書籍の導入状況	19
2-3 公立図書館における電子書籍の導入状況	25
2-4 電子書籍の活用を子供の読書活動推進につなげている自治体の取組	42
第3章 読書推進活動の取組事例の紹介	46
3-1 矢板市（栃木県）「ともなりライブラリー（矢板市立学校電子図書館）」	47
3-2 熱海市（静岡県）「学校と連携した電子書籍を活用した取組」	49
3-3 熊本市（熊本県）「コロナ禍における市内小中学校と電子図書館の連携」	51
3-4 工学院大学附属中学・高等学校（東京都）「充実した ICT 環境と授業における電子書籍の積極的な活用」	53
3-5 幼保連携型認定こども園 追手門学院幼稚園「こども園・幼稚園におけるデジタル絵本制作と電子図書館サービスの導入」（大阪府）	55
3-6 広島県立図書館（広島県）	57
3-7 札幌市（北海道）「子供向け電子書籍制作ワークショップの取組」	59
3-8 高森町（長野県）「高森ほんとも Web-Library」	61
3-9 関市（岐阜県）「児童書の購入や子供向けイベントによる子供の読書推進」	63
3-10 大阪市（大阪府）「子供向けの読書イベントの開催」	65
第4章 まとめ	67
4-1 アンケートからみる子供の読書活動における電子書籍の導入状況	67
4-2 先進事例からみる電子書籍導入・活用のポイント	69
第5章 アンケート調査票	71

第 1 部 調查結果

第1章 調査概要

本調査研究は、文部科学省総合教育政策局からの委託を受けて実施したものである。調査概要は、以下のとおり。

1-1 調査目的

本調査においては、電子書籍や電子メディアを活用した読書活動の推進及び言語活動の充実に関する施策について、詳細な実態把握とその分析を行い、今後の子供の読書活動の推進に向けた一助とすることを目的とする。

1-2 アンケート調査概要

事業の目的である具体的な現状を把握するために、下記に示す調査、集計及び分析を行い、報告書の作成を行う。

アンケート調査の実施概要は、下記のとおり。

1-2-1 アンケート調査対象

47 都道府県、1788 市区町村の教育委員会に対してアンケートを実施し、電子書籍や電子メディアを活用した読書活動推進の取組の実施状況について、把握を行った。

1-2-2 アンケート調査期間

2020年11月10日（火）～2020年11月27日（金）

1-2-3 有効回収数

1376 件（回収率 77.0%） ※2021 年 1 月 6 日（水）までの回答票で集計

※自治体ごとの回収率

	回収数	回収率
全体	1376/1788	77.0%
都道府県	46/47	97.9%
政令指定都市	20/20	100.0%
区	21/23	91.3%
市	640/722	88.6%
町	528/743	71.1%
村	121/183	66.1%

1-3 ヒアリング調査概要

文部科学省「子供の読書活動推進に関する有識者会議」等の議論を踏まえて、電子書籍を既に活用しており、特に子供向けの電子書籍を活用した取組に力を入れている自治体・学校を選定しヒアリング調査を行った。

ヒアリング対象の自治体及び取組名称

■公立学校の電子書籍を活用した取組事例

事例 1 : 矢板市 (栃木県)

「学校電子図書館『ともなりライブラリー (矢板市立学校電子図書館)』」

事例 2 : 熱海市 (静岡県) 「学校と連携した電子書籍を活用した取組」

事例 3 : 熊本市 (熊本県) 「コロナ禍における市内小中学校と電子図書館の連携」

■私立学校の電子書籍を活用した取組事例

事例 4 : 工学院大学附属中学・高等学校 (東京都)

「充実した ICT 環境と授業における電子書籍の積極的な活用」

事例 5 : 幼保連携型認定こども園 追手門学院幼稚園 (大阪府)

「こども園・幼稚園におけるデジタル絵本制作と電子図書館サービスの導入」

■公立図書館の電子書籍を活用した取組事例

事例 6 : 広島県

「青少年のための電子図書館サービス『With Books ひろしま』」

事例 7 : 札幌市 (北海道) 「子供向け電子書籍制作ワークショップの取組」

事例 8 : 高森町 (長野県) 「高森ほんとも Web-Library」

事例 9 : 関市 (岐阜県) 「児童書の購入や子供向けイベントによる子供の読書推進」

事例 10 : 大阪市 (大阪府) 「子供向けの読書イベントの開催」

1-4 調査検討委員会

子供の読書活動及び地域の読書活動について専門的知識を有する有識者等 6 名からなる調査検討委員会を設置した。委員会は下記の日程で計 2 回実施し、調査手法・内容等について委員より指導・助言を受けた。

日時	内容
令和 2 年 10 月 8 日 (木) 10:00~12:00 第 1 回調査検討委員会	(1) 調査趣旨・内容について (2) アンケート調査票について (3) その他
令和 3 年 2 月 24 日 (水) 10:00~12:00 第 2 回調査検討委員会	(1) 報告書について (2) リーフレットについて (3) その他

調査検討委員会の委員は、下記のとおり（敬称略、五十音順）。

【座長】

秋田 喜代美 東京大学大学院教育学研究科長 教授

【委員】

有山 裕美子 工学院大学附属中学校・高等学校 司書教諭

稲垣 和雄 綾瀬市立図書館 館長

島 弘 日本図書館協会 児童青少年委員会 委員長

竹村 和子 全国学校図書館協議会 常務理事

野口 武悟 専修大学文学部 教授

1-5 主な結果

(1) アンケートの調査結果

本調査が実施したアンケート調査結果によると、子供の読書活動推進計画を定めている自治体のうち、電子書籍を活用した取組について記載のある自治体の割合は 8.3%にとどまることがわかった。

機関別にみると、現在公立学校に電子書籍を導入している自治体の割合は 2.0%で、今後導入を予定・検討している自治体の割合は 1 割程度である。また、現在公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体の割合は 9.8%で、今後電子書籍の貸出を予定・検討している自治体の割合は 3 割程度である。

電子書籍の導入における課題は、公立学校・公立図書館ともに、「電子書籍導入の予算が不足している」と回答する自治体の割合が最も高かった。また、すでに電子書籍の貸出を行っている公立図書館のある自治体は、「適当な電子書籍のコンテンツがない・少ない」と回答する割合が高かった。

また、電子書籍を活用した取組において成果を出している公立図書館の特徴として、電子書籍の貸出だけでなく、電子書籍を活用した様々な取組や、幅広い方法で電子書籍の周知を行っていることがわかった。

(2) ヒアリング調査結果

本調査では、電子書籍を活用した子供向けの取組を行っている自治体・学校にヒアリング調査を行った。各事例からみる電子書籍導入・活用のポイントとしては、「電子書籍を『作る』『触る』『体験する』」機会の提供や、「公立図書館と学校の連携」「電子書籍に簡単にアクセスできるような工夫」に加え、アンケート調査結果で課題として挙がっていた予算やコンテンツ不足への問題への対応等が挙げられた。

第2章 アンケート調査結果

2-1 自治体における電子書籍の導入・取組状況

全国の自治体における電子書籍の導入・取組状況について調査を行った。

2-1-1 子供の読書活動推進計画の策定状況

子供の読書活動推進計画（以下、計画という。）の策定状況は、「策定済み」と回答した自治体が7割以上である。アンケートに回答した都道府県・市区町村別の策定率は、都道府県の策定率は100%、政令指定都市は95.0%、市は89.4%、町は71.2%、村は53.7%となっている。

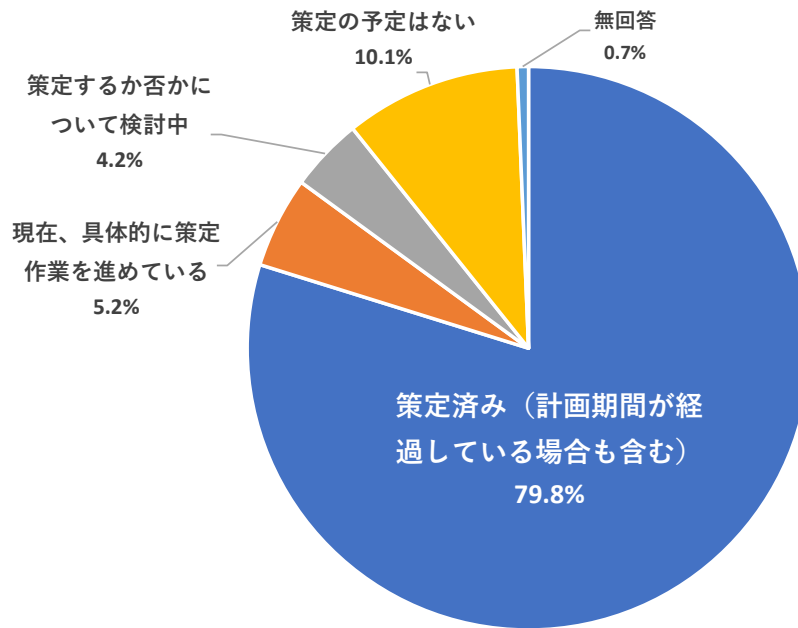


図 2-1 計画の策定状況（n=1,376）

表 2-1 都道府県・市町村別 計画の策定状況

	全体	策定済み (計画期間 が経過して いる場合も 含む)	現在、具 体的に策定作 業を進めて いる	策定するか 否かについ て検討中	策定の予定 はない	無回答
全体	1376 (100.0%)	1098 (79.8%)	72 (5.2%)	58 (4.2%)	139 (10.1%)	9 (0.7%)
都道府県	46 (100.0%)	46 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
政令指定都市	20 (100.0%)	19 (95.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)
市	640 (100.0%)	572 (89.4%)	27 (4.2%)	15 (2.3%)	22 (3.4%)	4 (0.6%)
区	21 (100.0%)	20 (95.2%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
町	528 (100.0%)	376 (71.2%)	34 (6.4%)	34 (6.4%)	80 (15.2%)	4 (0.8%)
村	121 (100.0%)	65 (53.7%)	11 (9.1%)	8 (6.6%)	36 (29.8%)	1 (0.8%)

2-1-2 計画における電子書籍を活用した取組の記載

計画を定めている自治体のうち、計画に電子書籍を活用した子供の読書推進についての「記載がある」と回答した自治体は、8.3%であった。

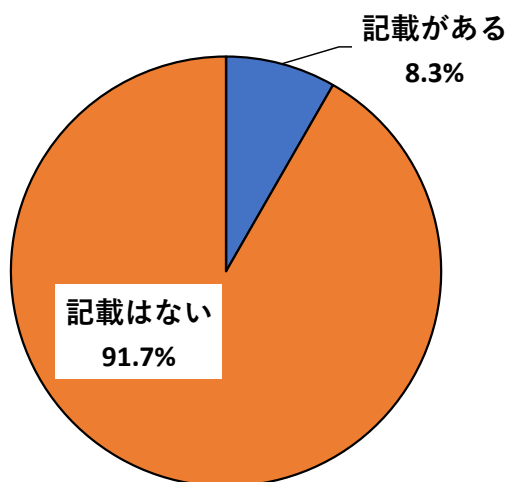


図 2-2 計画において電子書籍を活用した取組の記載 (n=1,098)

都道府県・市区町村別にみると、「記載がある」と回答した割合は政令指定都市が最も高く、42.1%であった。

表 2-2 都道府県市区町村別 計画において電子書籍を活用した取組の記載

	全体	記載がある	記載はない	無回答
全体	1098	91	1007	0
	(100.0%)	(8.3%)	(91.7%)	(0.0%)
都道府県	46	13	33	0
	(100.0%)	(28.3%)	(71.7%)	(0.0%)
政令指定都市	19	8	11	0
	(100.0%)	(42.1%)	(57.9%)	(0.0%)
市	572	59	513	0
	(100.0%)	(10.3%)	(89.7%)	(0.0%)
区	20	3	17	0
	(100.0%)	(15.0%)	(85.0%)	(0.0%)
町	376	8	368	0
	(100.0%)	(2.1%)	(97.9%)	(0.0%)
村	65	0	65	0
	(100.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)

2-1-3 計画に記載された電子書籍を活用した取組の具体的内容

計画に電子書籍を活用した取組について「記載がある」と回答した自治体のうち、具体的な取組内容としては、公立図書館における「電子書籍の導入」の回答割合が最も高い。次いで公立図書館における「子供向け電子書籍の充実」の回答割合が高くなっている。

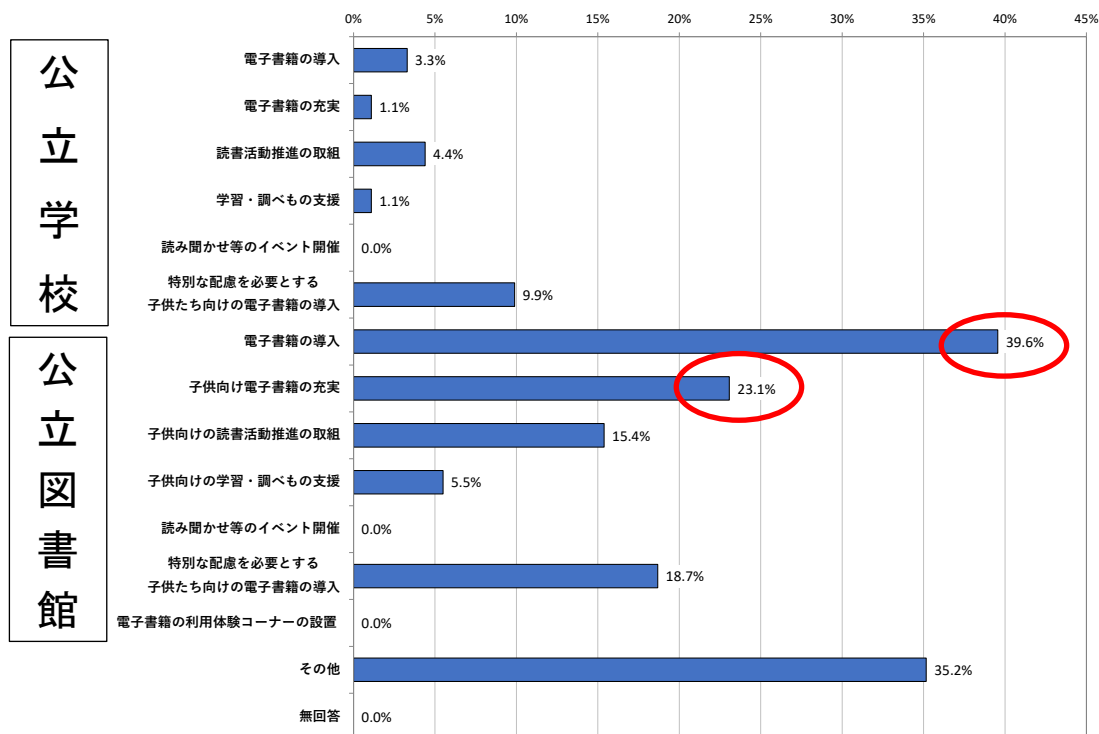


図 2-3 計画に記載された電子書籍を活用した取組内容 (n=91: 複数回答)

2-1-4 子供の読書活動推進として力を入れていること

(1)子供の読書活動推進として力を入れていること

全国の自治体が、子供の読書活動推進において力を入れていることは、「子供が本に触れるきっかけづくり」の回答割合が最も高く、9割を超えている。次いで「授業や朝の読書活動等における読書活動の推進」の回答割合が高い。

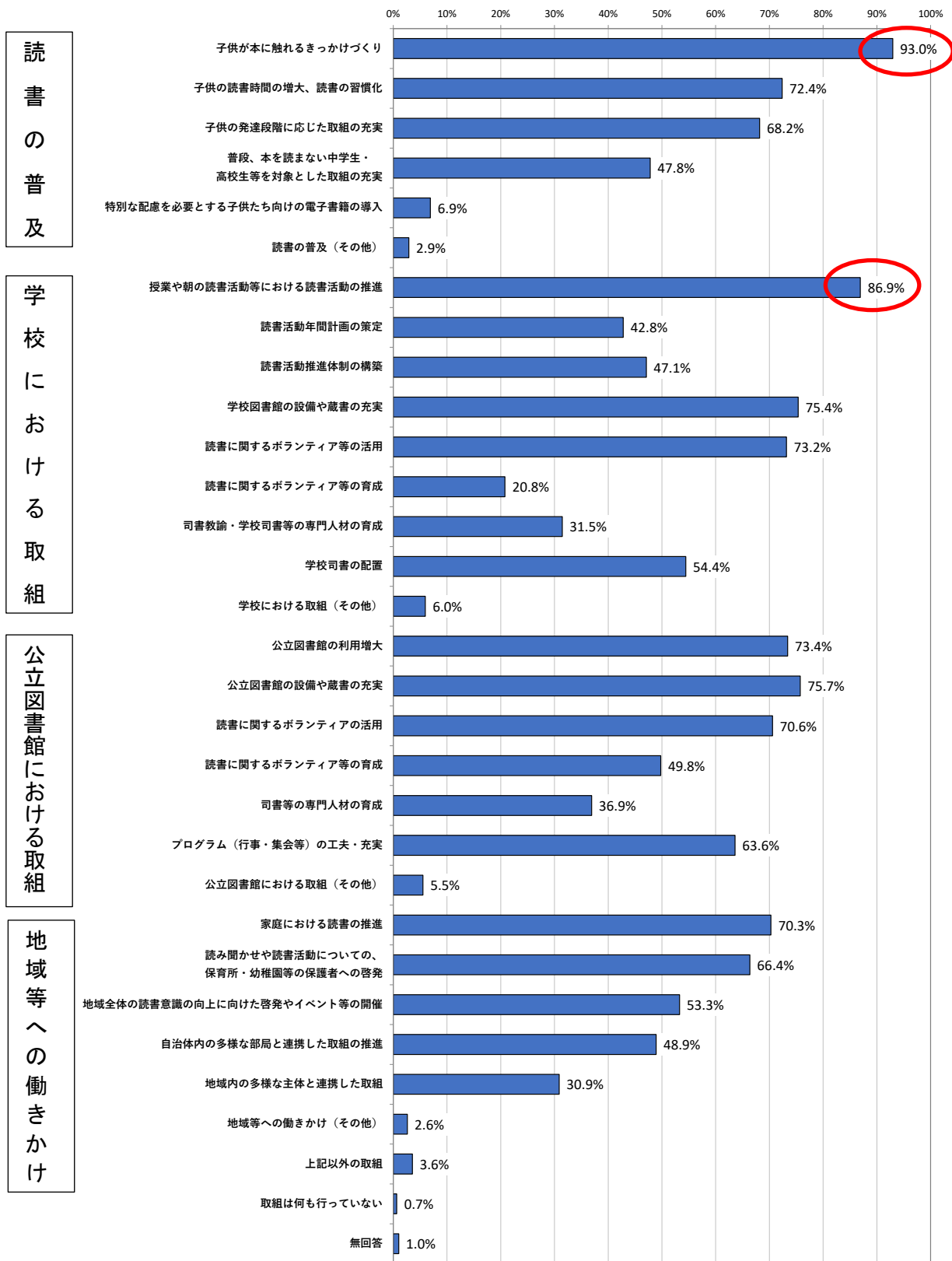


図 2-4 子供の読書活動推進として力を入れていること (n=1,376 : 複数回答)

都道府県・市区町村別にみると、政令指定都市・区の9割以上が「普段、本を読まない中学生・高校生等を対象とした取組の充実」に力を入れていることがわかった。

表 2-3 都道府県・市区町村別 子供の読書活動推進として力を入れていること (n =1,376 : 複数回答)

	全体	子供が本に触れるきっかけづくり	子供の読書時間の増大、読書の習慣化	子供の発達段階に応じた取組の充実	普段、本を読まない中学生・高校生等を対象とした取組の充実	特別な配慮を必要とする子供たち向けの電子書籍の導入	読書の普及(その他)	授業や朝の読書活動等における読書活動の推進	読書活動年間計画の策定	読書活動推進体制の構築	学校図書館の設備や蔵書の充実	読書に関するボランティア等の活用
全体	1376 (13.82)	1279 (93.0%)	996 (72.4%)	938 (68.2%)	658 (47.8%)	95 (6.9%)	40 (2.9%)	1196 (86.9%)	589 (42.8%)	648 (47.1%)	1037 (75.4%)	1007 (73.2%)
都道府県	46 (16.50)	43 (93.5%)	31 (67.4%)	44 (95.7%)	33 (71.7%)	10 (21.7%)	7 (15.2%)	40 (87.0%)	24 (52.2%)	27 (58.7%)	36 (78.3%)	25 (54.3%)
政令指定都市	20 (19.80)	18 (90.0%)	16 (80.0%)	17 (85.0%)	18 (90.0%)	5 (25.0%)	3 (15.0%)	19 (95.0%)	17 (85.0%)	16 (80.0%)	18 (90.0%)	18 (90.0%)
市	640 (15.79)	609 (95.2%)	504 (78.8%)	493 (77.0%)	366 (57.2%)	62 (9.7%)	18 (2.8%)	572 (89.4%)	295 (46.1%)	344 (53.8%)	508 (79.4%)	505 (78.9%)
区	21 (18.48)	21 (100.0%)	19 (90.5%)	20 (95.2%)	19 (90.5%)	8 (38.1%)	1 (4.8%)	19 (90.5%)	12 (57.1%)	12 (57.1%)	18 (85.7%)	18 (85.7%)
町	528 (11.91)	490 (92.8%)	366 (69.3%)	313 (59.3%)	197 (37.3%)	10 (1.9%)	9 (1.7%)	447 (84.7%)	198 (37.5%)	204 (38.6%)	376 (71.2%)	369 (69.9%)
村	121 (8.95)	98 (81.0%)	60 (49.6%)	51 (42.1%)	25 (20.7%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	99 (81.8%)	43 (35.5%)	45 (37.2%)	81 (66.9%)	72 (59.5%)
全体	1376 (13.82)	読書に関するボランティア等の育成 286 (20.8%)	司書教諭・学校司書等の専門人材の育成 433 (31.5%)	学校司書の配置 749 (54.4%)	学校における取組(その他) 82 (6.0%)	公立図書館の利用増大 1010 (73.4%)	公立図書館の設備や蔵書の充実 1042 (75.7%)	読書に関するボランティアの活用 971 (70.6%)	読書に関するボランティア等の育成 685 (49.8%)	司書等の専門人材の育成 508 (36.9%)	プログラム(行事・集会等)の工夫・充実 875 (63.6%)	公立図書館における取組(その他) 76 (5.5%)
都道府県	46 (16.50)	17 (37.0%)	32 (69.6%)	28 (60.9%)	7 (15.2%)	30 (65.2%)	38 (82.6%)	34 (73.9%)	31 (67.4%)	32 (69.6%)	29 (63.0%)	5 (10.9%)
政令指定都市	20 (19.80)	7 (35.0%)	17 (85.0%)	17 (85.0%)	3 (15.0%)	17 (85.0%)	18 (90.0%)	18 (90.0%)	18 (90.0%)	15 (75.0%)	19 (95.0%)	3 (15.0%)
市	640 (15.79)	161 (25.2%)	261 (40.8%)	409 (63.9%)	39 (6.1%)	556 (86.9%)	566 (88.4%)	555 (86.7%)	428 (66.9%)	311 (48.6%)	507 (79.2%)	49 (7.7%)
区	21 (18.48)	5 (23.8%)	10 (47.6%)	15 (71.4%)	3 (14.3%)	16 (76.2%)	20 (95.2%)	19 (90.5%)	17 (81.0%)	11 (52.4%)	20 (95.2%)	4 (19.0%)
町	528 (11.91)	84 (15.9%)	97 (18.4%)	238 (45.1%)	23 (4.4%)	344 (65.2%)	347 (65.7%)	310 (58.7%)	173 (32.8%)	123 (23.3%)	268 (50.8%)	13 (2.5%)
村	121 (8.95)	12 (9.9%)	16 (13.2%)	42 (34.7%)	7 (5.8%)	47 (38.8%)	53 (43.8%)	35 (28.9%)	18 (14.9%)	16 (13.2%)	32 (26.4%)	2 (1.7%)
全体	1376 (13.82)	家庭における読書の推進 967 (70.3%)	読み聞かせや読書活動についての、保育所・幼稚園等の保護者への啓発 913 (66.4%)	地域全体の読書意識の向上に向けた啓発やイベント等の開催 733 (53.3%)	自治体内の多様な部局と連携した取組の推進 673 (48.9%)	地域内の多様な主体と連携した取組 425 (30.9%)	地域等への働きかけ(その他) 36 (2.6%)	上記以外の取組 49 (3.6%)	取組は行っていない 9 (0.7%)	無回答 14 (1.0%)		
都道府県	46 (16.50)	41 (89.1%)	33 (71.7%)	33 (71.7%)	21 (45.7%)	24 (52.2%)	2 (4.3%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
政令指定都市	20 (19.80)	18 (90.0%)	16 (80.0%)	16 (80.0%)	17 (85.0%)	10 (50.0%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
市	640 (15.79)	497 (77.7%)	463 (72.3%)	360 (56.3%)	382 (59.7%)	235 (36.7%)	17 (2.7%)	24 (3.8%)	3 (0.5%)	5 (0.8%)		
区	21 (18.48)	18 (85.7%)	16 (76.2%)	14 (66.7%)	17 (81.0%)	11 (52.4%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
町	528 (11.91)	336 (63.6%)	322 (61.0%)	259 (49.1%)	208 (39.4%)	128 (24.2%)	11 (2.1%)	14 (2.7%)	5 (0.9%)	7 (1.3%)		
村	121 (8.95)	57 (47.1%)	63 (52.1%)	51 (42.1%)	28 (23.1%)	17 (14.0%)	3 (2.5%)	5 (4.1%)	1 (0.8%)	2 (1.7%)		

(2)子供の読書活動推進として電子書籍を活用した取組

全国の自治体において、子供の読書活動推進として「電子書籍を活用した取組を行っている」回答割合は8.2%である。

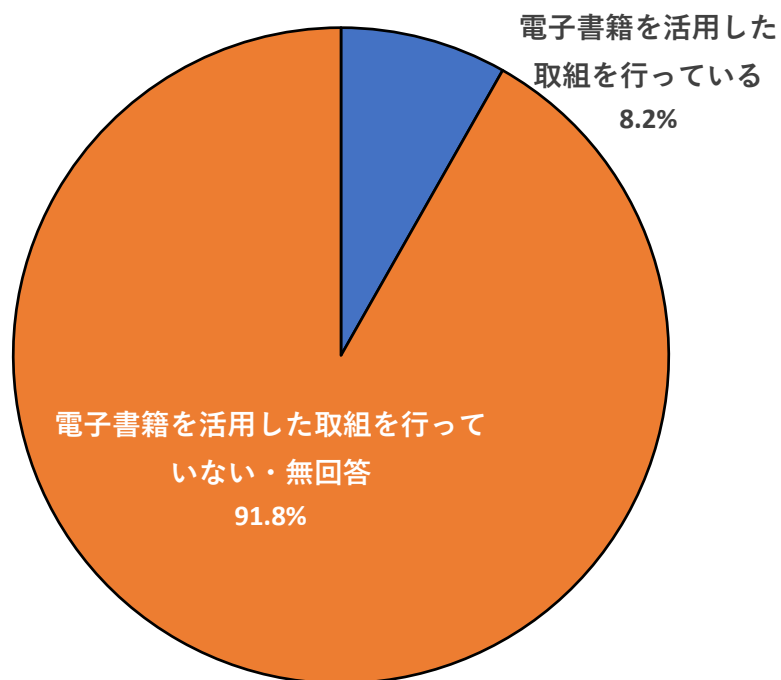


図 2-5 子供の読書活動推進において電子書籍を活用した取組を行っている自治体の割合
(n=1,376)

子供の読書活動推進にとして電子書籍を活用している取組を行っているとは回答した自治体について、具体的な取組は「公立図書館の設備や蔵書の充実」の回答割合が**52.2%**と最も高い。また、「公立図書館の利用増大」「特別な配慮を必要とする子供たち向け」と回答している自治体も3割を超えている。

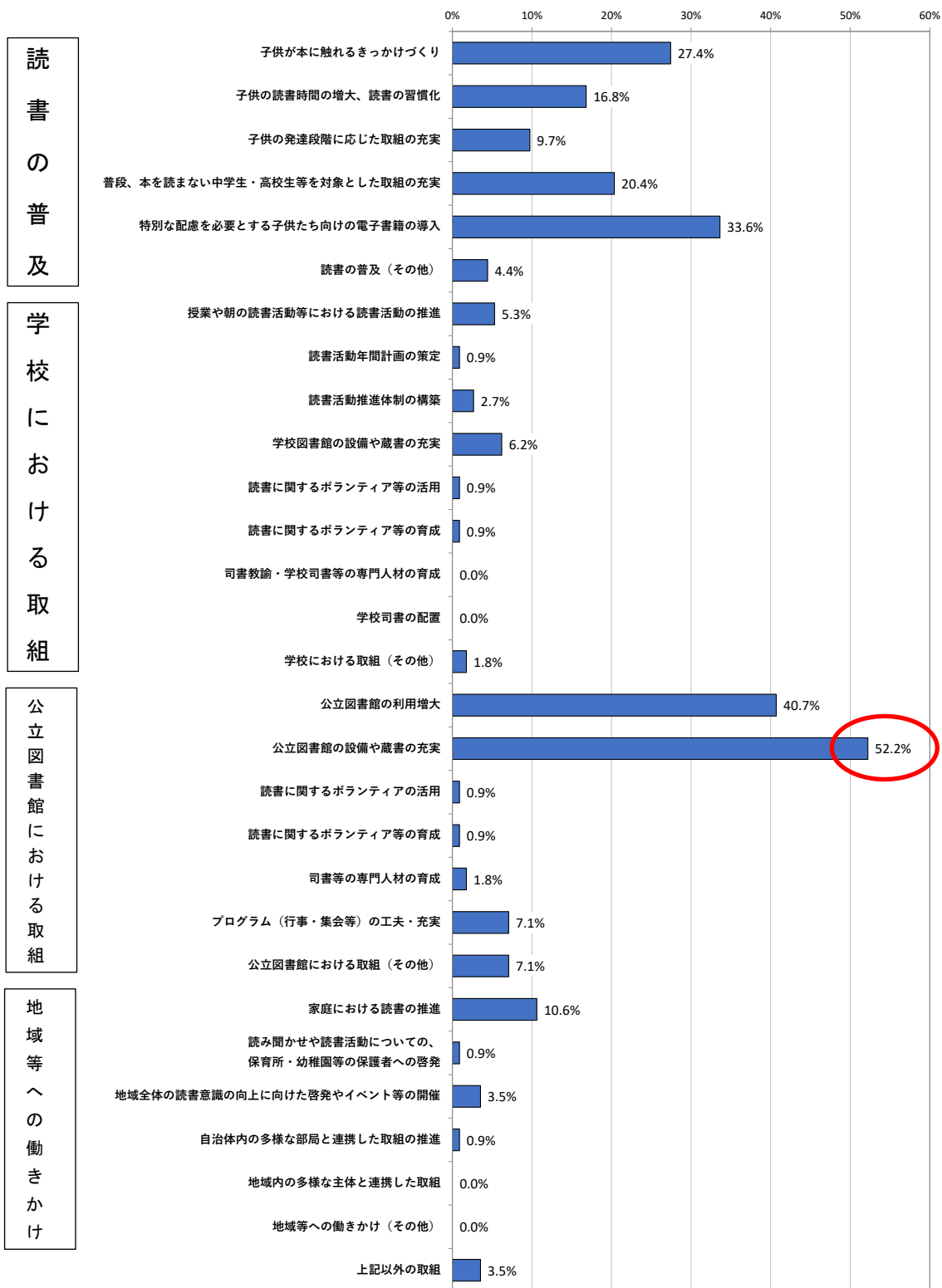


図 2-6 子供の読書活動推進として行っている電子書籍を活用した取組内容

(n=113 (取組を行っている自治体のみ) : 複数回答)

2-1-5 子供の読書活動推進として力を入れている電子書籍を活用した取組

子供の読書活動推進として電子書籍を活用した取組を行っている自治体に、具体的な取組を質問した。

(1)電子書籍を活用した取組の開始時期

子供の読書活動推進として電子書籍の活用に力を入れている自治体に、電子書籍を活用した取組の開始時期について尋ねたところ、「2020年」と回答した自治体が最多であった。

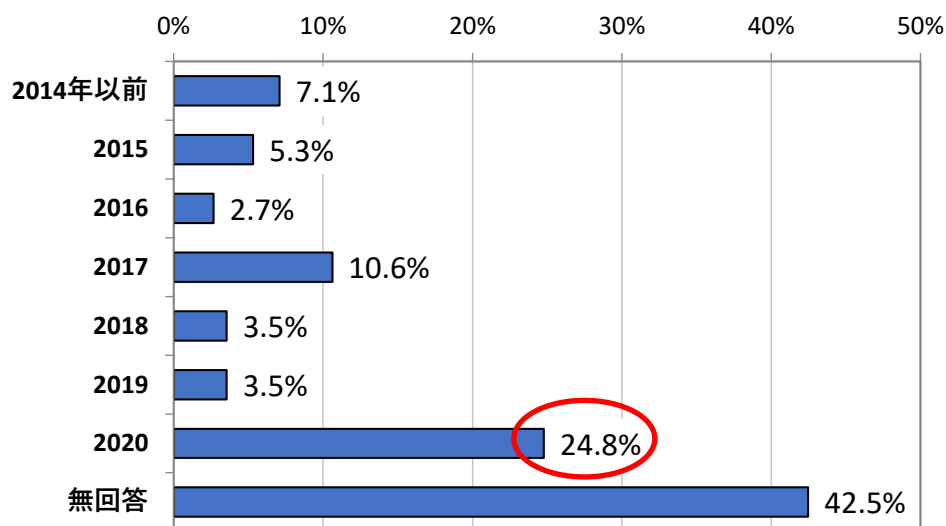


図 2-7 電子書籍を活用した取組の開始時期 (n=113)

(2)実施主体

電子書籍を活用した取組の実施主体は、「公立図書館」と回答した自治体が約半数と最も高い。

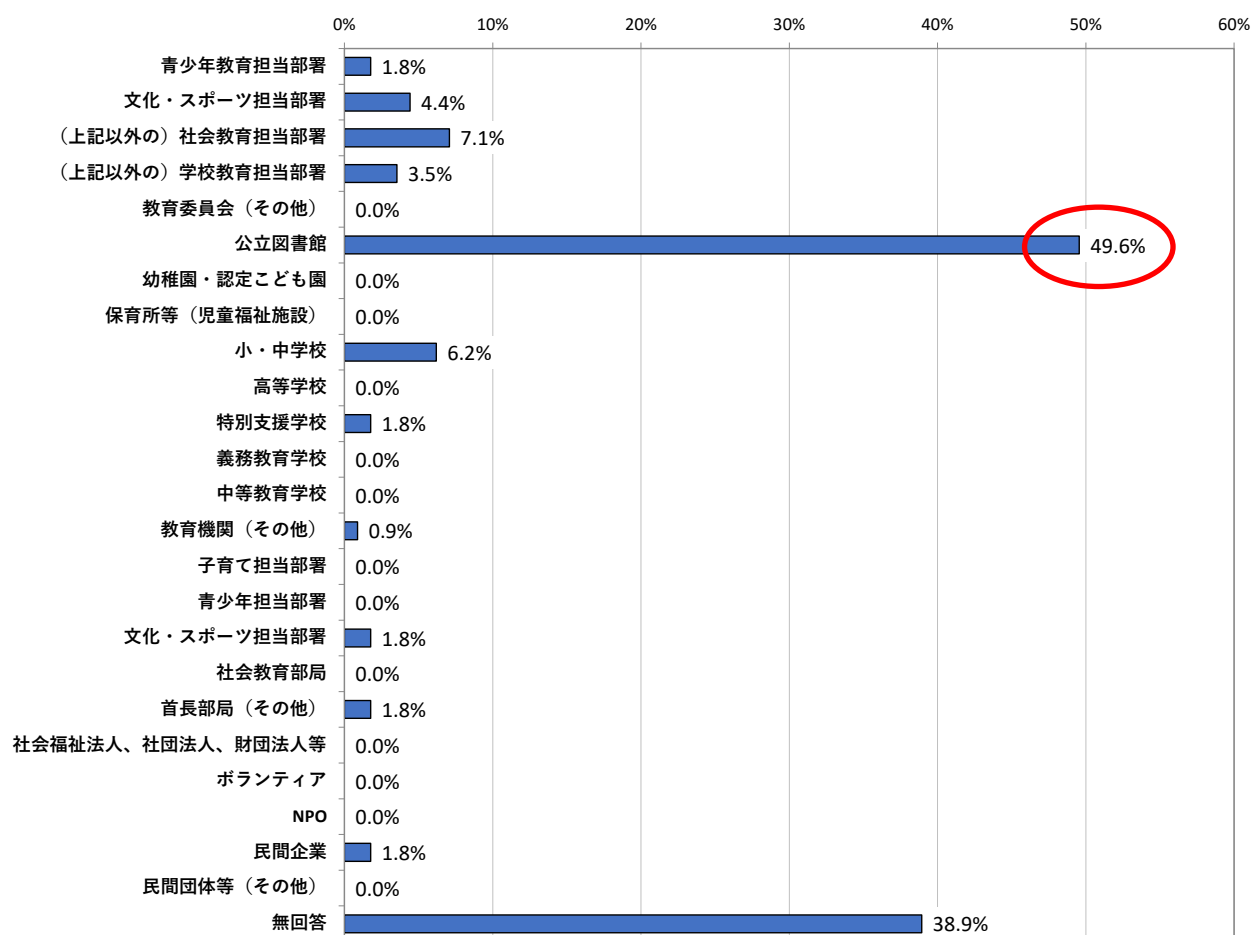


図 2-8 電子書籍を活用した取組の実施主体 (n=113: 複数回答)

2-2 公立学校における電子書籍の導入状況

2-2-1 実施状況

公立学校における電子書籍の導入状況についてみると、「すべての公立学校で電子書籍を導入している」の回答割合が0.5%、「一部の公立学校で電子書籍を導入している」の回答割合が1.5%と、あわせて2%の自治体において、公立学校が電子書籍を導入していることがわかる。「現在公立学校では電子書籍を導入していないが、今後行う予定が具体的にある」の回答割合が1.3%、「現在公立学校では電子書籍を導入していないが、実施を検討中」の回答割合が8.8%と、あわせて1割近くの自治体において公立学校での電子書籍の導入を予定・検討している。

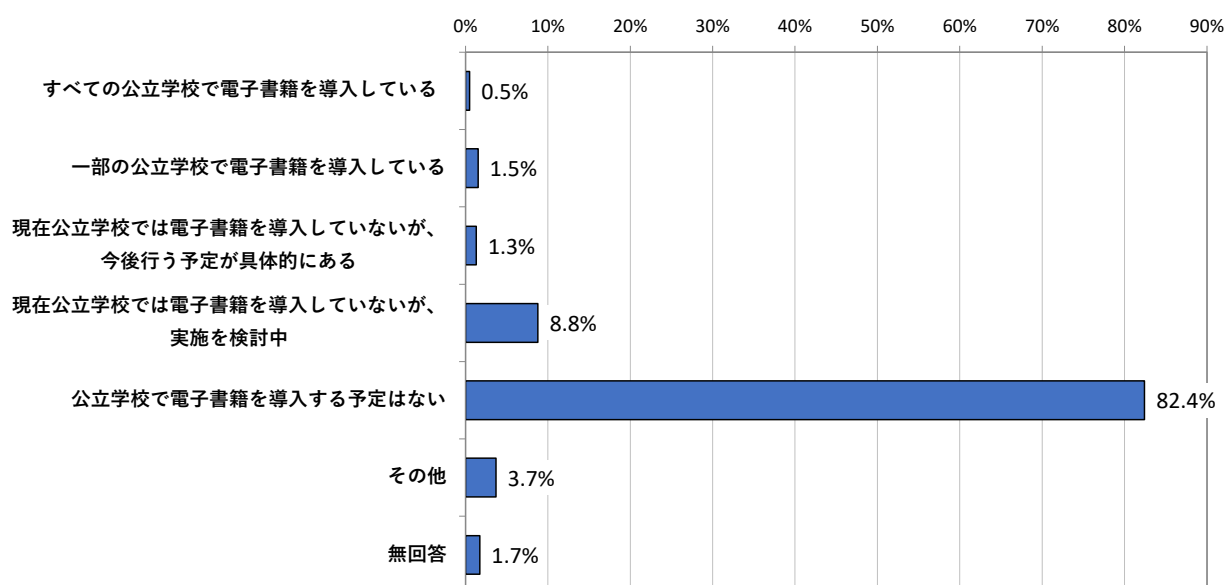


図 2-9 公立学校における電子書籍の導入状況 (n=1,376)

都道府県・市区町村別にみると、都道府県では、「一部の公立学校で電子書籍を導入している」割合が26.1%となっている。

また、計画の策定状況別にみると、計画に電子書籍に関する「記載がある」(図 2-2 参照)と回答した自治体は、「一部の公立学校で電子書籍を導入している」割合が3.3%である。

表 2-4 都道府県・市区町村別 公立学校における電子書籍の導入状況 (n=1,376)

	全体	すべての公立学校で電子書籍を導入している	一部の公立学校で電子書籍を導入している	現在公立学校では電子書籍を導入していないが、今後行う予定が具体的にある	現在公立学校では電子書籍を導入していないが、実施を検討中	公立学校で電子書籍を導入する予定はない	その他	無回答
全体	1376 (100.0%)	7 (0.5%)	21 (1.5%)	18 (1.3%)	121 (8.8%)	1134 (82.4%)	51 (3.7%)	24 (1.7%)
都道府県	46 (100.0%)	0 (0.0%)	12 (26.1%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	24 (52.2%)	7 (15.2%)	1 (2.2%)
政令指定都市	20 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (15.0%)	13 (65.0%)	4 (20.0%)	0 (0.0%)
市	640 (100.0%)	4 (0.6%)	4 (0.6%)	12 (1.9%)	55 (8.6%)	526 (82.2%)	26 (4.1%)	13 (2.0%)
区	21 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (14.3%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)	15 (71.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
町	528 (100.0%)	2 (0.4%)	2 (0.4%)	5 (0.9%)	49 (9.3%)	449 (85.0%)	13 (2.5%)	8 (1.5%)
村	121 (100.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (8.3%)	107 (88.4%)	1 (0.8%)	2 (1.7%)

表 2-5 計画の策定状況別：公立学校の電子書籍導入状況

	全体	すべての公立学校で電子書籍を導入している	一部の公立学校で電子書籍を導入している	現在公立学校では電子書籍を導入していないが、今後行う予定が具体的にある	現在公立学校では電子書籍を導入していないが、実施を検討中	公立学校で電子書籍を導入する予定はない	その他	無回答
全体	1376 (100.0%)	7 (0.5%)	21 (1.5%)	18 (1.3%)	121 (8.8%)	1134 (82.4%)	51 (3.7%)	24 (1.7%)
策定済み (記載あり)	91 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (3.3%)	4 (4.4%)	11 (12.1%)	57 (62.6%)	15 (16.5%)	1 (1.1%)
策定済み (記載なし)	1007 (100.0%)	6 (0.6%)	17 (1.7%)	11 (1.1%)	81 (8.0%)	852 (84.6%)	30 (3.0%)	10 (1.0%)
現在、具体的に策定作業を進めている	72 (100.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (12.5%)	60 (83.3%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)
策定するか否かについて検討中	58 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	2 (3.4%)	9 (15.5%)	42 (72.4%)	3 (5.2%)	1 (1.7%)
策定の予定はない	139 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	11 (7.9%)	123 (88.5%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)
無回答	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)

2-2-2 公立学校における電子書籍の導入予定

公立学校で電子書籍の導入を予定している自治体（「現在公立学校では電子書籍を導入していないが、今後行う予定が具体的にある」「現在公立学校では電子書籍を導入していないが、実施を検討中」と回答した自治体）に、公立学校における電子書籍の導入予定を質問した。

(1)導入予定時期

電子書籍を導入する予定時期をみると、「決まっている」の回答割合は、5.8%である。

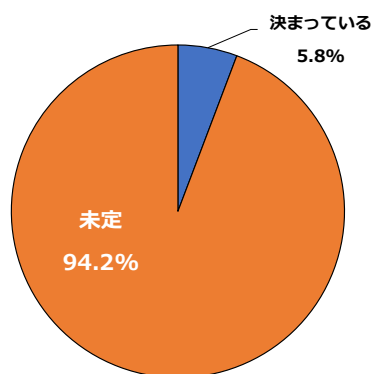


図 2-10 公立学校における電子書籍の導入予定時期決定の有無 (n=139)

(2)予定する取組内容

電子書籍を使って今後予定している取組は、「未定」に次いで、「調べ学習・朝読書など教育の場面での活用」の回答割合が 32.4%と高くなっている。

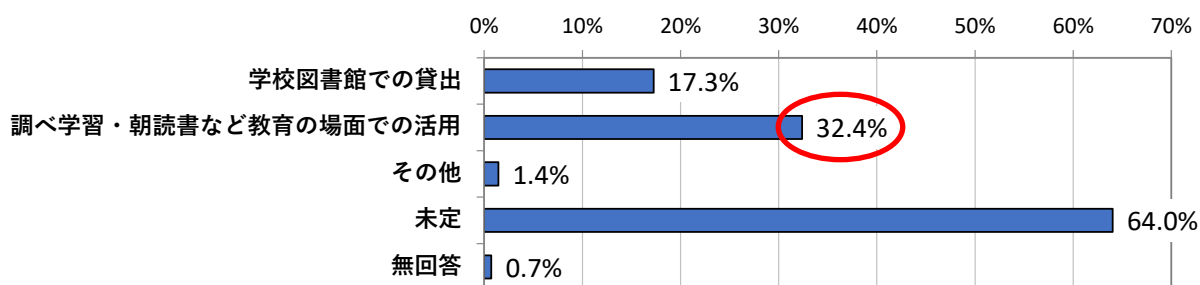


図 2-11 公立学校の電子書籍導入にあたり予定する取組 (n=139)

(3)導入における課題

電子書籍の導入における課題としては、「電子書籍導入の予算が不足している」の回答割合が最も高く 66.9%である。次いで、「電子書籍導入に関する知識が不足している」の回答割合が高くなっている。

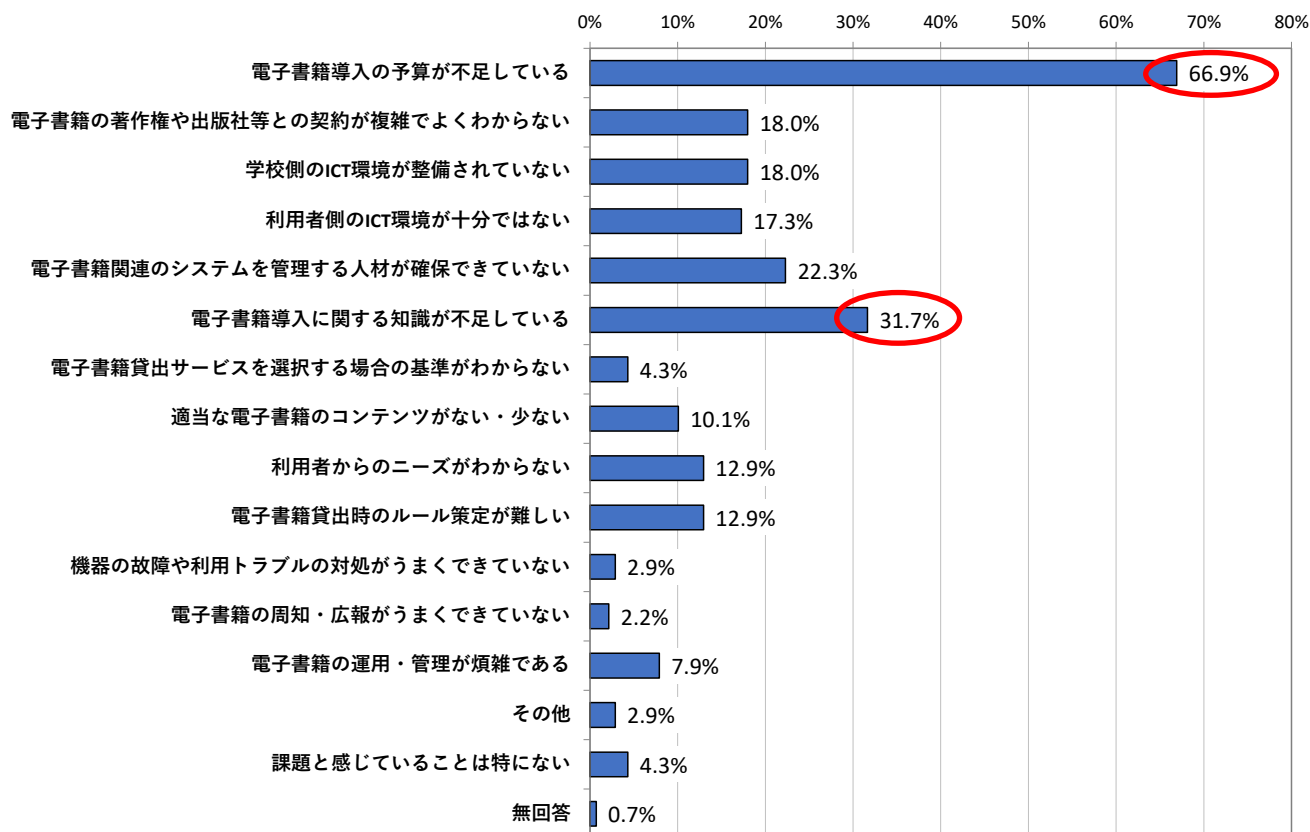


図 2-12 公立学校の電子書籍導入における課題 (n=139)

2-2-3 電子書籍の導入を行っている公立学校の取組状況

公立学校で電子書籍の導入を行っている自治体に、公立学校における取組状況を質問した。

(1) 開始時期

公立学校が電子書籍を導入した時期をみると、「2020年」の回答割合が46.4%と最も割合が高い。

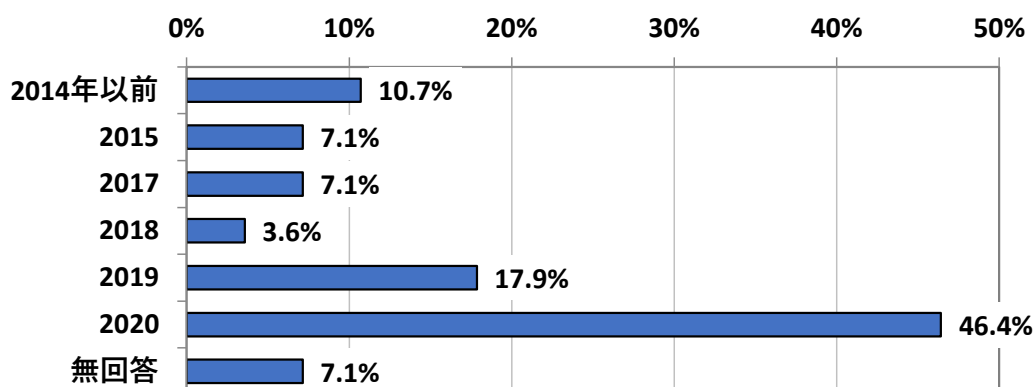


図 2-13 公立学校で電子書籍を行っている自治体の電子書籍の導入時期 (n=28)

(2) 取組内容

公立学校での電子書籍での主な取組について自由記述できいたところ、主に授業での取組と読書活動推進の取組が行われていることがわかった。

表 2-6 公立学校での電子書籍を活用した主な取組内容 (自由記述)

授 業 で の 取 組	国語科における読書活動等 (特別支援学校)。
	学習課題での使用。
	授業で使用する教員に対する貸出 (県立高校等)。
	教育委員会が導入した「ポプラディアネット」を活用し、調べ学習等に活用している。
	インターネット上で、農村漁村文化協会のデータベースサービス「ルーラル電子図

	<p>書館」を活用している。課題研究等に利用されている。</p> <p>辞書・資料集等のアプリを活用した、各教科の授業における調べ学習等。</p>
読書推進	<p>同一書籍を同時に閲覧可能なことから、学習の副読や、休み時間・朝の読書の時間の閲覧等、汎用性が高いものとなっている。学研の書籍を約200冊 web サービスで貸し出し可能。その他、地元新聞社と連携し、NIE 事業等にも活用できるよう素材を提供している。</p>
の取組	<p>BYOD を導入している学校が、県立図書館の電子書籍サービスを活用して、読書活動の推進を行っている。</p> <p>電子書籍用のタブレット端末を用意して図書室に常設のコーナーを作り、自由に利用ができるようにしている。</p> <p>小規模校で、朝読書の時間に全校を集め、iPad とテレビをつなぎ、読み聞かせを行った。</p> <p>臨時休校時の読書指導。</p> <p>School e-library（小中高等学校向けの電子書籍の定額制読書サービス）を契約し、生徒・教職員に電子図書の貸出を行っている。</p> <p>「電子書籍」の購入については、学校図書館としては行っていないが、「青空文庫」「プロジェクト・グーテンベルク」等のテキストファイル等の紹介。</p>
その他	<p>文字や挿絵を拡大したり、読み上げ機能を活用したりするなど、児童生徒の障害の状態に応じた読書活動を進められるようにしている。</p> <p>障害のある子供たちがより学習に取り組めるよう、デージー教科書を導入している。</p> <p>高等部普通科の知的代替生徒の国語科の授業で使用している（特別支援学校）。</p> <p>オリンピックの記録として保管（高等学校：平成11年10月～）。</p> <p>マルチメディア DAISY の授業への活用及び学校図書館で貸出。</p> <p>肢体不自由のため、自分で頁をめくることが難しい、読むことが難しい児童が、授業（自立活動、遊びの指導等）で活用したり、休憩時間に読んだりしている。</p>

2-3 公立図書館における電子書籍の導入状況

全国の自治体の公立図書館における電子書籍の導入状況を見ていく。なお、本節は、1,788自治体のうち、公立図書館のある1,178自治体を回答の対象としている。

2-3-1 実施状況

公立図書館の電子書籍の貸出状況についてみると、「すべての公立図書館で電子書籍の貸出を行っている」の回答割合が9.1%、「一部の公立図書館で電子書籍の貸出を行っている」の回答割合が0.7%と、あわせて1割近くの自治体において、公立図書館の電子書籍の貸出を行っていることがわかる。

また、「現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、今後行う予定が具体的にある」の回答割合が4.7%、「現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、実施を検討している」と回答割合が22.4%と、あわせて3割弱の自治体において公立図書館の電子書籍の貸出を検討している。

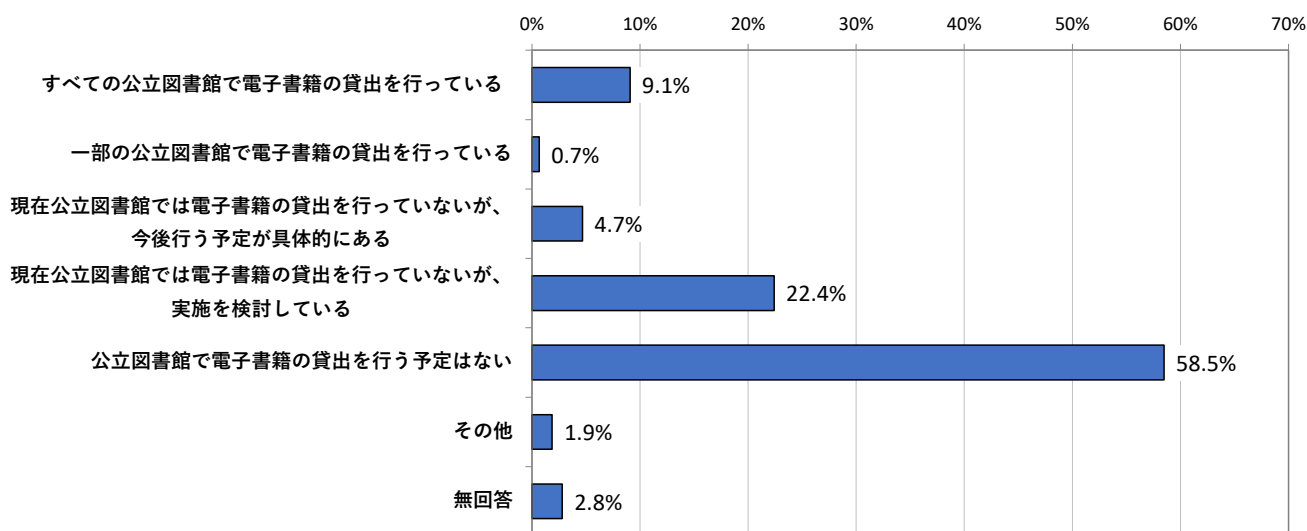


図 2-14 公立図書館における電子書籍の導入状況 (n=1,178)

都道府県・市区町村別にみると、「すべての公立図書館で電子書籍の貸出を行っている」の回答割合は、政令指定都市が 35.0%と最も高い。

また、計画の策定状況別にみると、計画に電子書籍に関する「記載がある」(図 2-2 参照)と回答した自治体は、「すべての公立図書館で電子書籍の貸出を行っている」割合が 36.3%である。

表 2-7 都道府県・市区町村別 公立図書館における電子書籍の導入状況

	全体	すべての公立図書館で電子書籍の貸出を行っている	一部の公立図書館で電子書籍の貸出を行っている	現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、今後行う予定が具体的にある	現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、実施を検討している	公立図書館で電子書籍の貸出を行う予定はない	その他	無回答
全体	1178 (100.0%)	107 (9.1%)	8 (0.7%)	55 (4.7%)	264 (22.4%)	689 (58.5%)	22 (1.9%)	33 (2.8%)
都道府県	46 (100.0%)	6 (13.0%)	1 (2.2%)	2 (4.3%)	16 (34.8%)	18 (39.1%)	2 (4.3%)	1 (2.2%)
政令指定都市	20 (100.0%)	7 (35.0%)	0 (0.0%)	2 (10.0%)	8 (40.0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)
市	631 (100.0%)	77 (12.2%)	5 (0.8%)	41 (6.5%)	179 (28.4%)	307 (48.7%)	10 (1.6%)	12 (1.9%)
区	21 (100.0%)	2 (9.5%)	1 (4.8%)	3 (14.3%)	10 (47.6%)	5 (23.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
町	400 (100.0%)	15 (3.8%)	1 (0.3%)	6 (1.5%)	48 (12.0%)	309 (77.3%)	8 (2.0%)	13 (3.3%)
村	60 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	3 (5.0%)	48 (80.0%)	1 (1.7%)	7 (11.7%)

表 2-8 計画の策定状況別：公立図書館の電子書籍貸出状況

	全体	すべての公立図書館で電子書籍の貸出を行っている	一部の公立図書館で電子書籍の貸出を行っている	現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、今後行う予定が具体的にある	現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、実施を検討している	公立図書館で電子書籍の貸出を行う予定はない	その他	無回答
全体	1178 (100.0%)	107 (9.1%)	8 (0.7%)	55 (4.7%)	264 (22.4%)	689 (58.5%)	22 (1.9%)	33 (2.8%)
策定済み (記載あり)	91 (100.0%)	33 (36.3%)	1 (1.1%)	8 (8.8%)	31 (34.1%)	13 (14.3%)	5 (5.5%)	0 (0.0%)
策定済み (記載なし)	896 (100.0%)	65 (7.3%)	7 (0.8%)	44 (4.9%)	205 (22.9%)	539 (60.2%)	14 (1.6%)	22 (2.5%)
現在、具体的に策定作業を進めている	54 (100.0%)	2 (3.7%)	0 (0.0%)	2 (3.7%)	9 (16.7%)	37 (68.5%)	1 (1.9%)	3 (5.6%)
策定するか否かについて検討中	44 (100.0%)	3 (6.8%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)	7 (15.9%)	32 (72.7%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)
策定の予定はない	89 (100.0%)	4 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (12.4%)	66 (74.2%)	2 (2.2%)	6 (6.7%)
無回答	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)

表 2-9 都道府県立図書館の電子書籍導入の有無別：各市区町村の公立図書館における

電子書籍の貸出状況（参考）

	全体	都道府県立図書館の電子書籍導入の有無	すべての公立図書館で電子書籍の貸出を行っている	一部の公立図書館で電子書籍の貸出を行っている	現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、今後行う予定が具体的にある	現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、実施を検討している	公立図書館で電子書籍の貸出を行っていない	その他	無回答
全体	1132 (100.0%)		101 (8.9%)	7 (0.6%)	53 (4.7%)	248 (21.9%)	671 (59.3%)	20 (1.8%)	32 (2.8%)
北海道	110 (100.0%)	×	3 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	9 (8.2%)	90 (81.8%)	2 (1.8%)	4 (3.6%)
青森県	19 (100.0%)	×	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	14 (73.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
岩手県	22 (100.0%)	×	0 (0.0%)	1 (4.5%)	1 (4.5%)	2 (9.1%)	18 (81.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
宮城県	17 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (35.3%)	11 (64.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
秋田県	11 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	8 (72.7%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)
山形県	24 (100.0%)	×	1 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (12.5%)	17 (70.8%)	0 (0.0%)	3 (12.5%)
福島県	35 (100.0%)	×	1 (2.9%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	5 (14.3%)	27 (77.1%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)
茨城県	30 (100.0%)	×	7 (23.3%)	0 (0.0%)	1 (3.3%)	12 (40.0%)	10 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
栃木県	21 (100.0%)	×	5 (23.8%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	4 (19.0%)	8 (38.1%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)
群馬県	20 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	4 (20.0%)	10 (50.0%)	2 (10.0%)	3 (15.0%)
埼玉県	41 (100.0%)	×	8 (19.5%)	0 (0.0%)	2 (4.9%)	14 (34.1%)	15 (36.6%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)
千葉県	42 (100.0%)	×	2 (4.8%)	0 (0.0%)	5 (11.9%)	12 (28.6%)	22 (52.4%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)
東京都	50 (100.0%)	×	5 (10.0%)	1 (2.0%)	9 (18.0%)	19 (38.0%)	14 (28.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)
神奈川県	25 (100.0%)	×	4 (16.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (32.0%)	11 (44.0%)	1 (4.0%)	1 (4.0%)
新潟県	20 (100.0%)	×	0 (0.0%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	4 (20.0%)	13 (65.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)
富山県	11 (100.0%)	×	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)	6 (54.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
石川県	10 (100.0%)	×	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)
福井県	11 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	10 (90.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
山梨県	16 (100.0%)	○	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)	11 (68.8%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)
長野県	39 (100.0%)	×	1 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (20.5%)	27 (69.2%)	2 (5.1%)	1 (2.6%)
岐阜県	36 (100.0%)	○	3 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (30.6%)	21 (58.3%)	0 (0.0%)	1 (2.8%)

	全体	都道府県立図書館の電子書籍導入の有無	すべての公立図書館で電子書籍の貸出を行っている	一部の公立図書館で電子書籍の貸出を行っている	現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、今後行う予定が具体的にある	現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、実施を検討している	公立図書館で電子書籍の貸出を行う予定はない	その他	無回答
全体	1132 (100.0%)		101 (8.9%)	7 (0.6%)	53 (4.7%)	248 (21.9%)	671 (59.3%)	20 (1.8%)	32 (2.8%)
静岡県	29 (100.0%)	×	4 (13.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (24.1%)	17 (58.6%)	1 (3.4%)	0 (0.0%)
愛知県	45 (100.0%)	×	4 (8.9%)	0 (0.0%)	3 (6.7%)	12 (26.7%)	24 (53.3%)	0 (0.0%)	2 (4.4%)
三重県	19 (100.0%)	×	2 (10.5%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	5 (26.3%)	9 (47.4%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)
滋賀県	17 (100.0%)	×	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	5 (29.4%)	10 (58.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
京都府	19 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	14 (73.7%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)
大阪府	37 (100.0%)	×	7 (18.9%)	0 (0.0%)	5 (13.5%)	15 (40.5%)	9 (24.3%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)
兵庫県	31 (100.0%)	×	11 (35.5%)	2 (6.5%)	1 (3.2%)	5 (16.1%)	10 (32.3%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)
奈良県	23 (100.0%)	×	5 (21.7%)	1 (4.3%)	2 (8.7%)	2 (8.7%)	11 (47.8%)	0 (0.0%)	2 (8.7%)
和歌山県	17 (100.0%)	×	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	3 (17.6%)	11 (64.7%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)
鳥取県	10 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	9 (90.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
島根県	10 (100.0%)	○	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (90.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
岡山県	20 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (30.0%)	14 (70.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
広島県	13 (100.0%)	○	4 (30.8%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	5 (38.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
山口県	15 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)	2 (13.3%)	9 (60.0%)	1 (6.7%)	1 (6.7%)
徳島県	16 (100.0%)	○	2 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	13 (81.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
香川県	13 (100.0%)	×	3 (23.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (23.1%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
愛媛県	14 (100.0%)	×	1 (7.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	4 (28.6%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
高知県	11 (100.0%)	○	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	10 (90.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
福岡県	45 (100.0%)	○	4 (8.9%)	0 (0.0%)	5 (11.1%)	12 (26.7%)	24 (53.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
佐賀県	9 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	8 (88.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
長崎県	17 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (11.8%)	3 (17.6%)	12 (70.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
熊本県	24 (100.0%)	×	3 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (4.2%)	6 (25.0%)	12 (50.0%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)
大分県	13 (100.0%)	×	3 (23.1%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	4 (30.8%)	5 (38.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
宮崎県	9 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
鹿児島県	28 (100.0%)	×	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (14.3%)	22 (78.6%)	0 (0.0%)	2 (7.1%)
沖縄県	18 (100.0%)	×	2 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	12 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

2-3-2 公立図書館における電子書籍の貸出予定

公立図書館において電子書籍の貸出を予定している自治体（「現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、今後行う予定が具体的にある」「現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、実施を検討中」と回答した自治体）に、公立図書館における電子書籍の貸出予定を質問した。

(1)導入予定時期

公立図書館において電子書籍の貸出を開始する予定時期についてみると、「決まっている」と回答した自治体は2割弱程度であった。

「決まっている」と回答した自治体のうち7割以上が、2021年以内に電子書籍の貸出を開始する予定である。

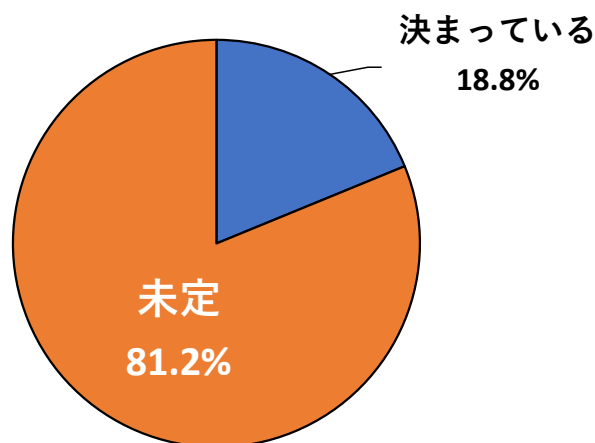


図 2-15 公立図書館において電子書籍の貸出を開始する予定時期の決定 (n=319)

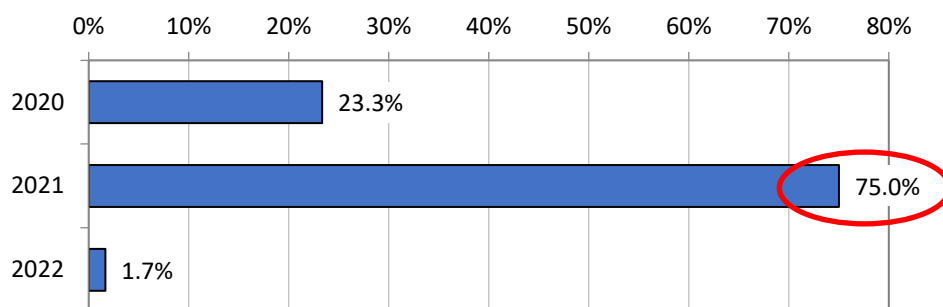


図 2-16 公立図書館において電子書籍の貸出を開始する予定時期 (n=60)

(2) 予定する取組内容

公立図書館において電子書籍の貸出を予定している自治体が、電子書籍を使って今後予定している取組をみると、「読書活動推進の取組」の回答割合が46.1%と最も高い。次いで「特別な配慮を必要とする子供たち向けの電子書籍の導入」が39.2%と高くなっている。

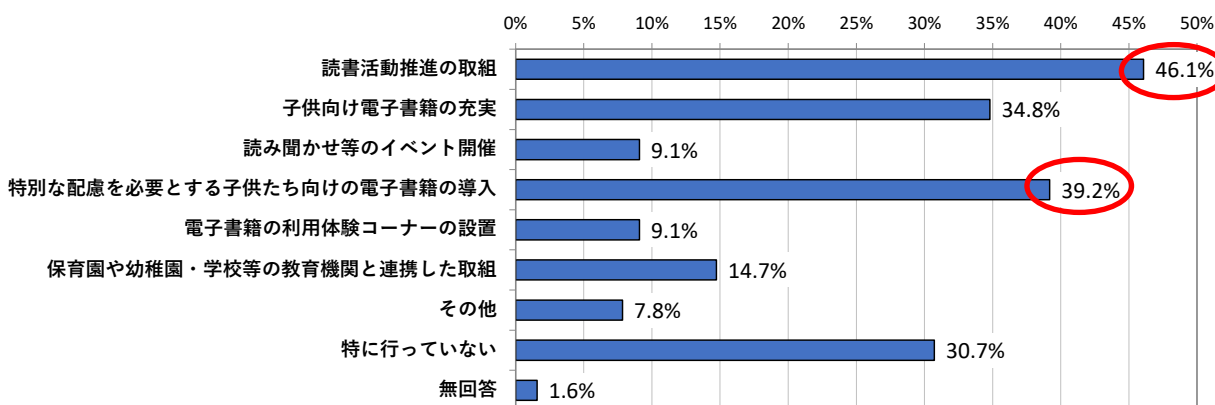


図 2-17 公立図書館で、電子書籍を使って今後予定している子供読書活動推進の取組
(n=319: 複数回答)

都道府県・市区町村別にみると、「読書活動推進の取組」の回答割合は、町が最も高く63.0%である。

表 2-10 都道府県・市区町村別 公立図書館で、電子書籍を使って今後予定している子供読書活動推進の取組 (複数回答)

	全体	読書活動推進の取組	子供向け電子書籍の充実	読み聞かせ等のイベント開催	特別な配慮を必要とする子供たち向けの電子書籍の導入	電子書籍の利用体験コーナーの設置	保育園や幼稚園・学校等の教育機関と連携した取組	その他	特に行っていない	無回答
全体	319 (1.93)	147 (46.1%)	111 (34.8%)	29 (9.1%)	125 (39.2%)	29 (9.1%)	47 (14.7%)	25 (7.8%)	98 (30.7%)	5 (1.6%)
都道府県	18 (1.22)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (33.3%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	2 (11.1%)	12 (66.7%)	0 (0.0%)
政令指定都市	10 (1.90)	4 (40.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)
市	220 (1.84)	99 (45.0%)	70 (31.8%)	14 (6.4%)	83 (37.7%)	19 (8.6%)	28 (12.7%)	19 (8.6%)	69 (31.4%)	3 (1.4%)
区	13 (2.31)	7 (53.8%)	6 (46.2%)	2 (15.4%)	7 (53.8%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)
町	54 (2.39)	34 (63.0%)	27 (50.0%)	11 (20.4%)	22 (40.7%)	8 (14.8%)	14 (25.9%)	1 (1.9%)	10 (18.5%)	2 (3.7%)
村	4 (3.00)	2 (50.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(3)導入における課題

公立図書館において電子書籍の貸出を予定している自治体において、公立図書館での電子書籍導入の課題をみると、「電子書籍導入の予算が不足している」の回答割合が67.4%で最も高い。次いで、「適当な電子書籍のコンテンツがない・少ない」の回答割合が高い。

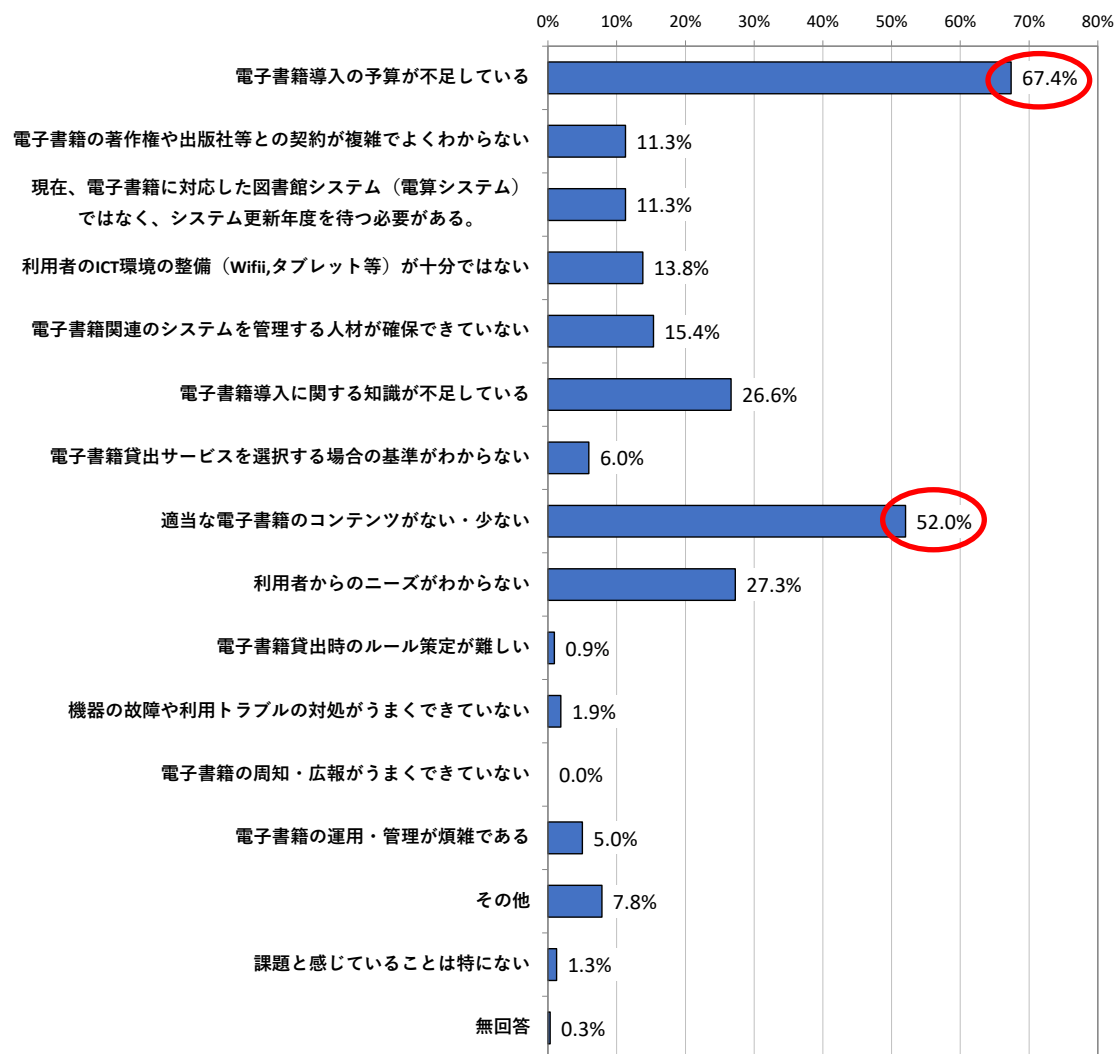


図 2-18 公立図書館における電子書籍導入の課題

(n=319 : 複数回答)

2-3-3 電子書籍の貸出を行っている公立図書館の取組

公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体（「すべての公立図書館で電子書籍の貸出を行っている」または「一部の公立図書館で電子書籍の貸出を行っている」と回答した自治体）について、公立図書館での電子書籍の取組内容を見ていく。

(1) 電子書籍の貸出を開始した時期

公立図書館が電子書籍の貸出を開始した時期をみると、「2020年」の回答割合が2割程度である。

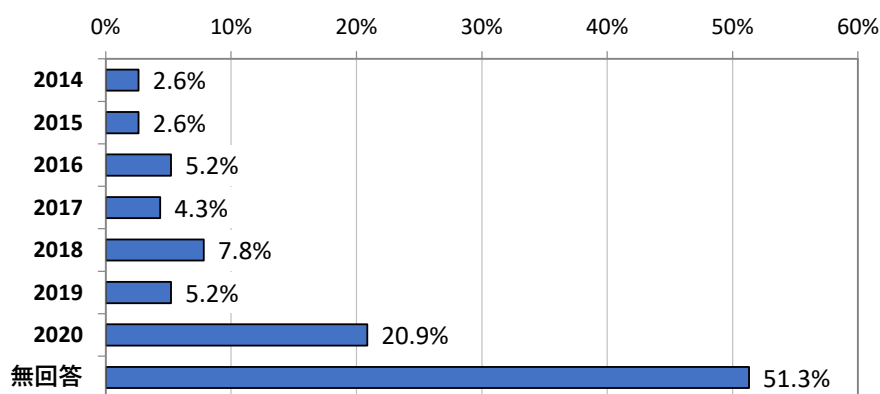


図 2-19 公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体が電子書籍の導入を開始した時期 (n=115)

(2) 電子書籍の総貸出冊数

令和元年度の電子書籍の総貸出冊数について、児童書と児童書以外のジャンルでそれぞれ総数と電子書籍の数をみた。電子書籍の貸出冊数は、貸出総数の1%にも満たないことがわかる。

表 2-11 公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体における書籍の平均貸出冊数 (令和元年度 ※令和元年度までに電子書籍の貸出を開始した自治体のみ n=27)

	冊	
	総数	うち電子書籍
児童書	226,021	230
児童書以外	400,845	2,355

(3)電子書籍を活用した子供向けの取組

公立図書館における電子書籍を活用した子供向けの取組についてみると、「子供向け電子書籍の充実」の回答割合が52.2%と最も高い。

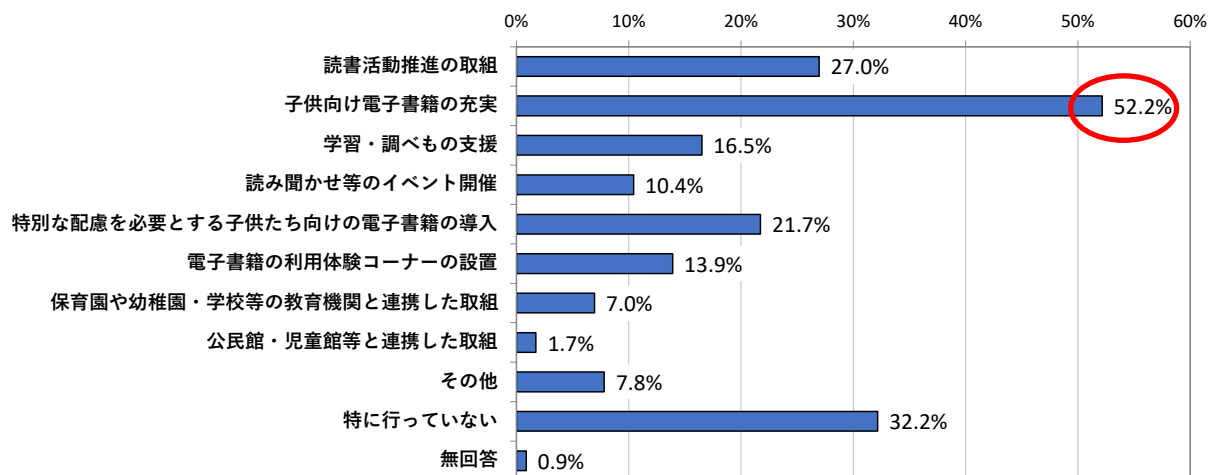


図 2-20 公立図書館による電子書籍を活用した取組 読書活動推進の取組
(n=115 : 複数回答)

(4)電子書籍を活用した取組の周知方法

公立図書館での電子書籍を活用した取組の周知方法をみると「図書館のホームページ」の回答割合が86.1%と最も高い。次いで「ポスター等の掲示物」の回答割合が60.0%と高くなっている。

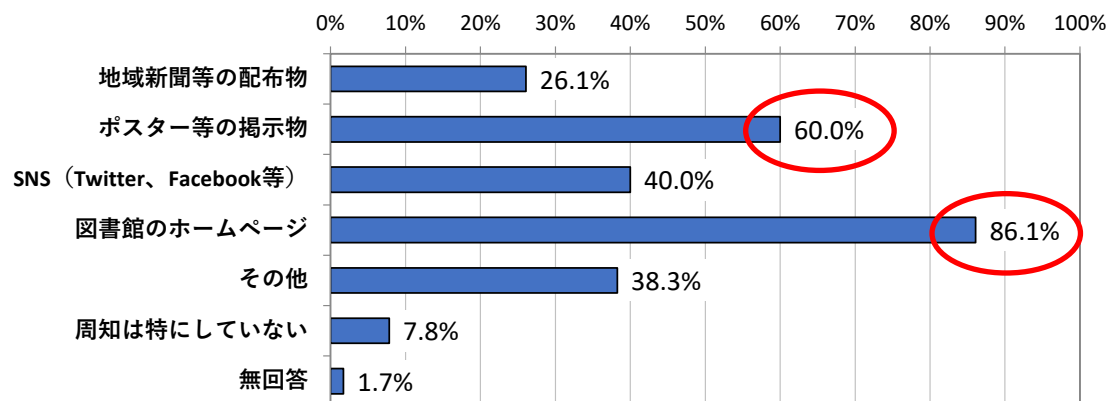


図 2-21 公立図書館での電子書籍を活用した取組の周知方法 (n=115 : 複数回答)

(5) 公立図書館の電子書籍を利用する年代

公立図書館における電子書籍の利用者の年代は、「大学・一般」の回答割合が91.3%と最も高い。

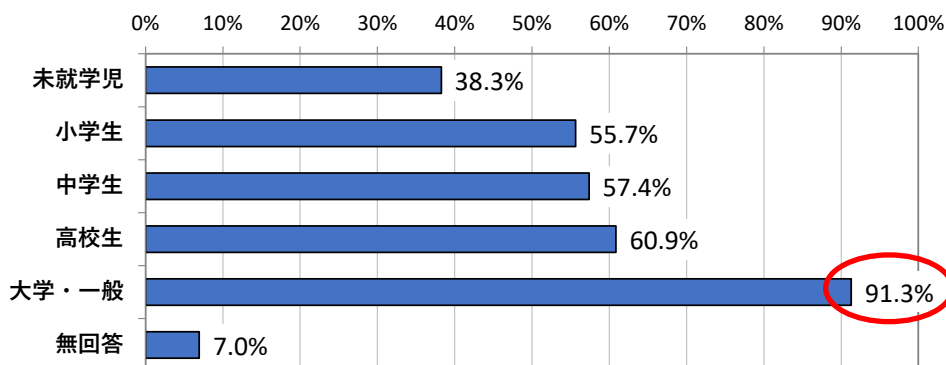


図 2-22 公立図書館の電子書籍を利用する年代 (n=115 : 複数回答)

(6) 電子書籍の所有数

公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体が提供している電子書籍のコンテンツ別の所有冊数についてみると、「その他」の冊数が最も多い。「その他」の内容として、たとえば「実用書」「洋書」「文芸書」「資格取得の問題集」などが挙げられている。

次いで「児童書」の冊数が多くなっている。

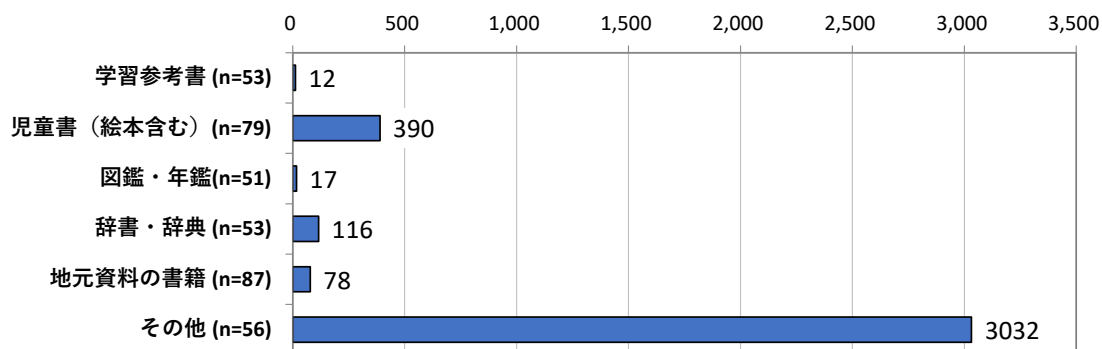


図 2-23 公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体における電子書籍のコンテンツ別所有冊数

(7)電子書籍活用の成果

公立図書館での電子書籍の活用が、児童・生徒の読書活動推進につながったかについて聞いたところ、「どちらとも言えない」の回答割合が最も高く、6割程度であった。また、「とてもそう思う」「そう思う」の回答割合は合わせて3割近くとなった。

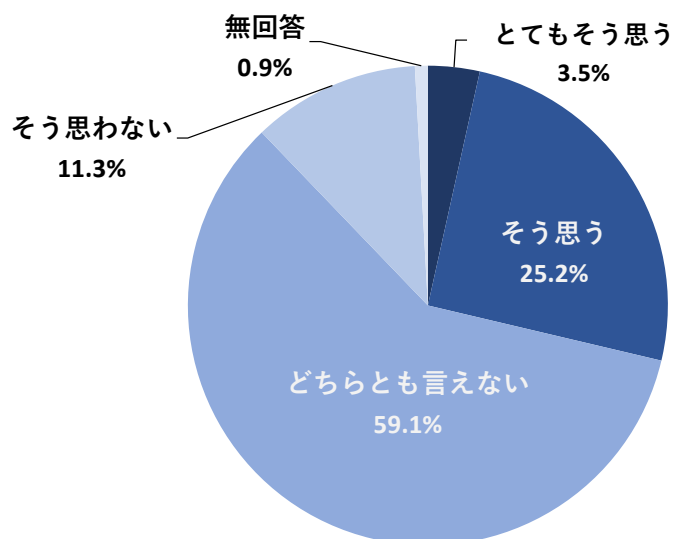


図 2-24 公立図書館での電子書籍の活用が、児童・生徒の読書活動推進につながったか
(n=115)

(8)電子書籍を活用した取組における課題

公立図書館での電子書籍を活用した取組における課題は、「適切な電子書籍のコンテンツがない・少ない」の回答割合が67.8%と最も高い。次いで、「電子書籍の周知・広報がうまくできていない」の回答割合が高くなっている。

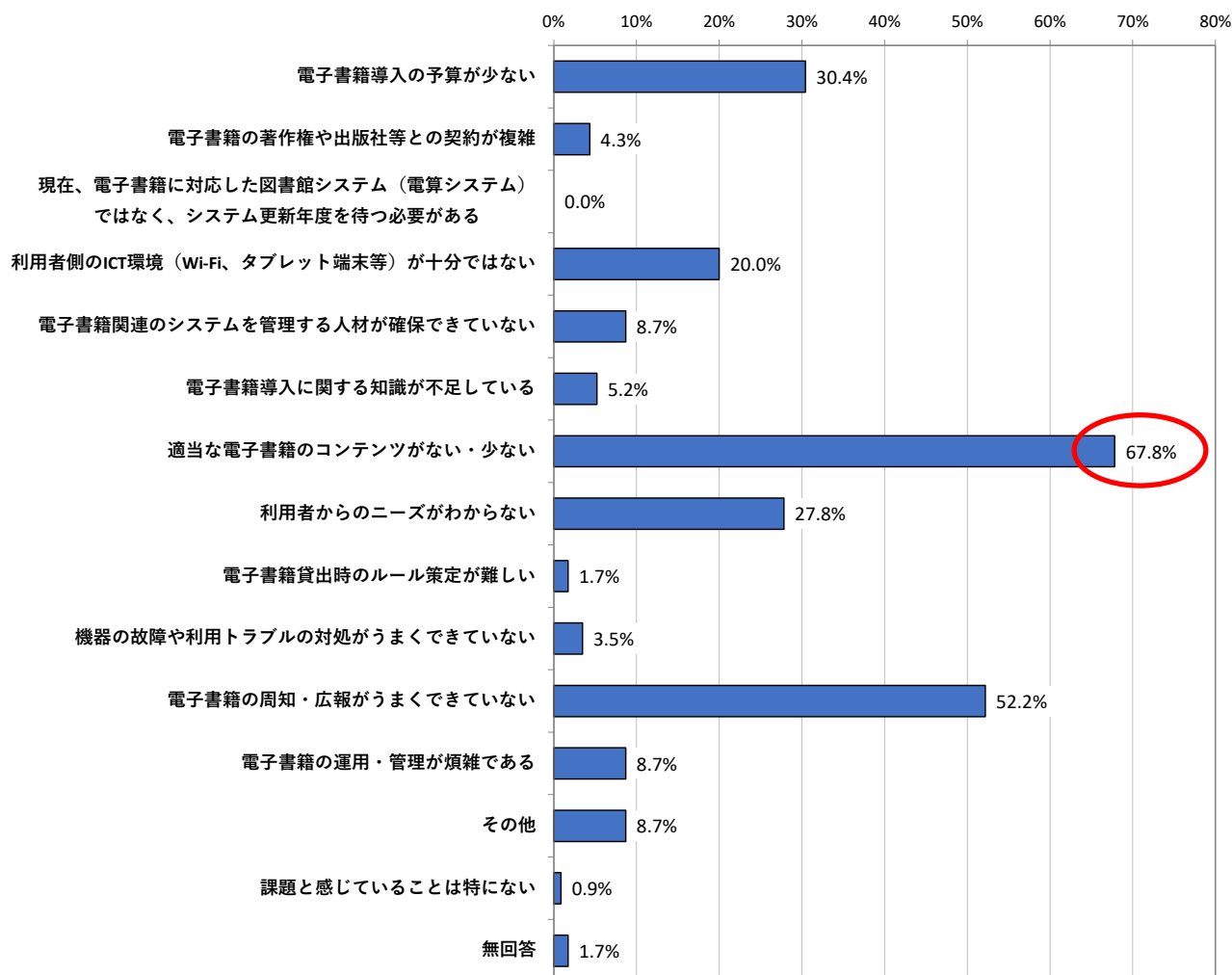


図 2-25 公立図書館での電子書籍を活用した取組における課題 (n=115)

また、そのような電子書籍導入館に関係する課題に対応している自治体は4割程度である。

具体的には、「適当な電子書籍のコンテンツがない・少ない」という課題に対して「電子書籍の販売店や取次店にコンテンツの充実化を要望」「自作コンテンツの掲載」「利用者のニーズに合わせた電子書籍の選書を行い蔵書冊数を増やす予定」などが挙げられている。

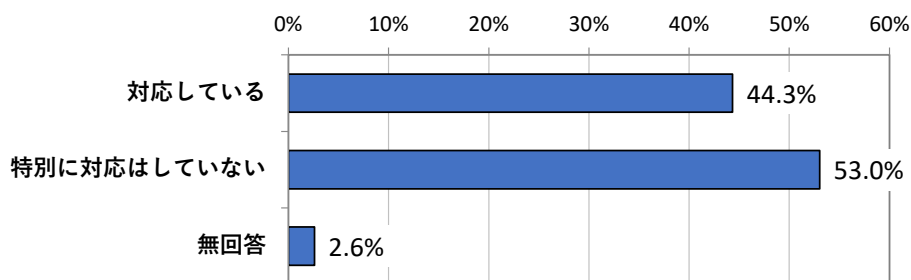


図 2-26 公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体が、電子書籍を活用した取組において感じる課題への対応 (n=115)

表 2-12 公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体が、電子書籍を活用した取組において感じる課題への主な対応 (自由記述)

課題	課題への具体的な対応
電子書籍導入の予算が少ない	交付金事業を活用し、コンテンツ数を増やす予定。
	補正予算に電子書籍追加購入を要求。
	来年度の電子書籍に関する予算要求。
適当な電子コンテンツがない・少ない	電子書籍の販売店や取次店にコンテンツの充実化を要望している。具体的には、販売総数ではなく、ジャンルによって点数のばらつきがある点や入門書・基本書などが不足している点など。
	自作コンテンツの掲載。
	利用者のニーズに合わせた電子書籍の選書を行い、蔵書冊数を増やす予定。
利用者からのニーズがわからない	年代別、ジャンル別の貸出統計からの情報の蓄積。
	複数の他市町村の電子図書館の利用状況を参考に、選書している。

<p>機器の故障や利用トラブルの対処がうまくできていない</p>	<p>利用者の機器スペックによりトラブルの回答が異なってくるので、想定できる QA 集を作成予定。</p>
<p>電子書籍の周知・広報がうまくできていない</p>	<p>市の広報誌に掲載する、また、スポーツ少年団等児童のグループへの広報活動を行う。</p>
	<p>青少年向けに周知できるよう、学校への周知を強化する。</p>
	<p>市広報、図書館 HP、学校等様々なチャンネルを活用した周知活動。</p>
	<p>館内設置チラシ、ホームページ、SNS 等での利用促進を継続実施、電子書籍等を活用したクイズの実施による利用促進。</p>

(9)今後の展望

公立図書館において、今後やってみたい電子書籍を活用した取組として、「子供向け電子書籍の充実」の回答割合が40.0%と最も高い。次いで、「学習・調べもの支援」「保育園や幼稚園・学校等の教育機関と連携した取組」が3割以上と高い。

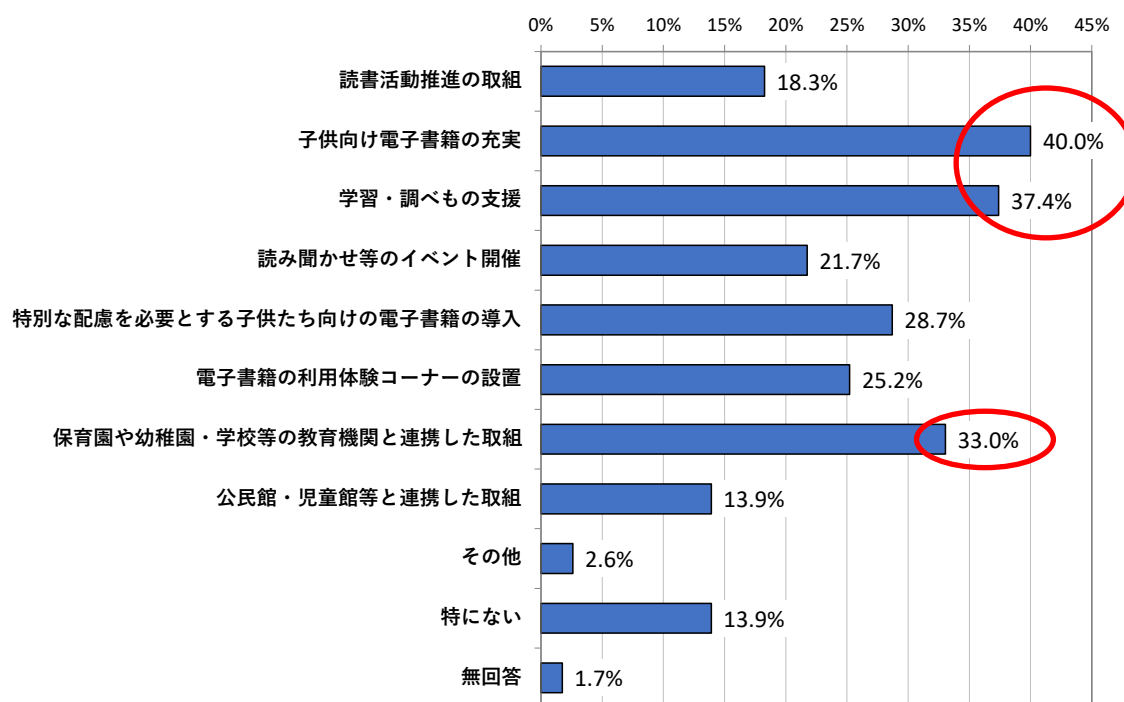


図 2-27 公立図書館で今後やってみたい電子書籍を活用した取組(n=115)

(10) 新型コロナウイルスの影響

① 電子書籍を活用した取組における変化

電子書籍の貸出を行っている公立図書館において、新型コロナウイルスの影響によって電子書籍活用の取組に変化があったかを聞いたところ、「電子書籍の利用者が増加した」が6割を超えている。

また、新型コロナウイルスの流行前（2020年1月）と流行後（2020年7月）の1か月間の電子書籍貸出冊数の合計を聞いたところ、流行前の貸出冊数の平均が326冊だったのに対し、流行後は約700冊と倍以上に増加している。

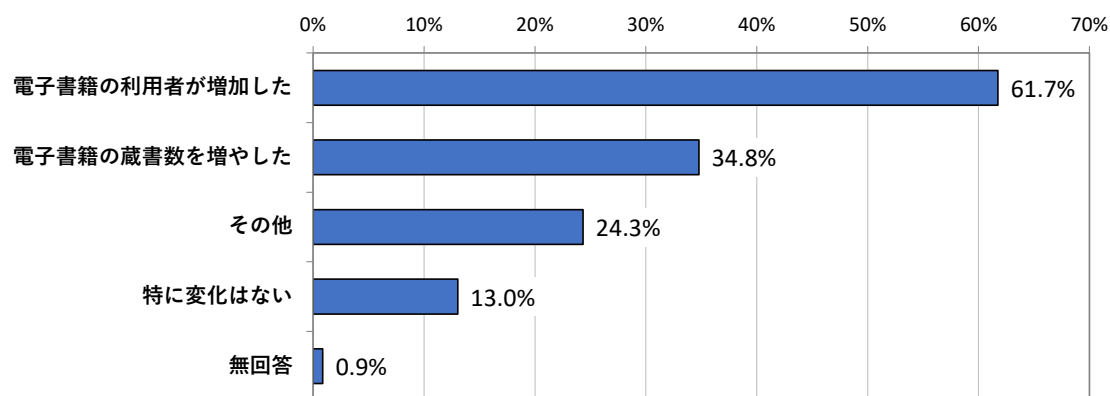


図 2-28 新型コロナウイルスによる電子書籍を活用した取組への影響
(n=115 : 複数回答)

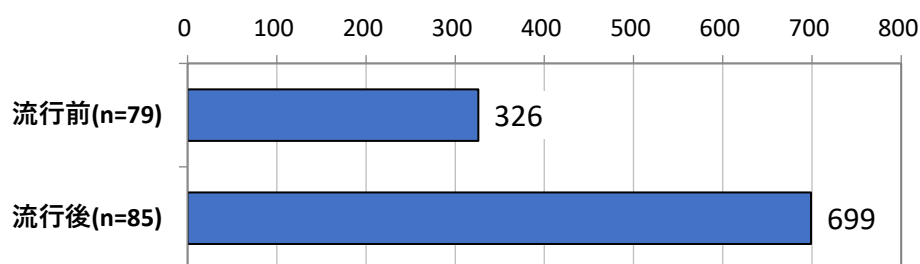


図 2-29 新型コロナウイルスの流行前後における電子書籍の1か月間の貸出冊数の推移

②子供読書活動推進の新たな取組

新型コロナウイルスの影響を踏まえ、子供読書活動の推進に関して新たな取組を行ったかを聞いたところ、「新たな取組を行った」の回答割合が52.2%であった。

また、行った新たな取組が、「電子書籍に関する取組である」と回答した割合は、48.3%であった。

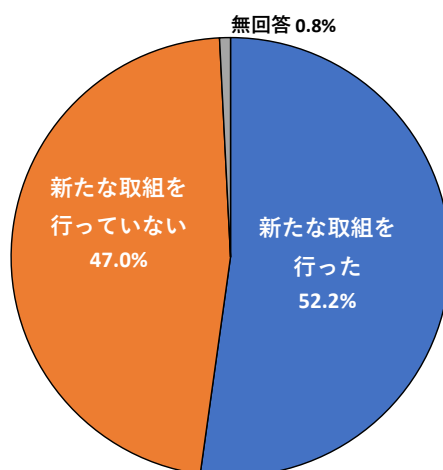


図 2-30 公立図書館での新型コロナウイルスの影響による新たな取組の有無 (n=115)

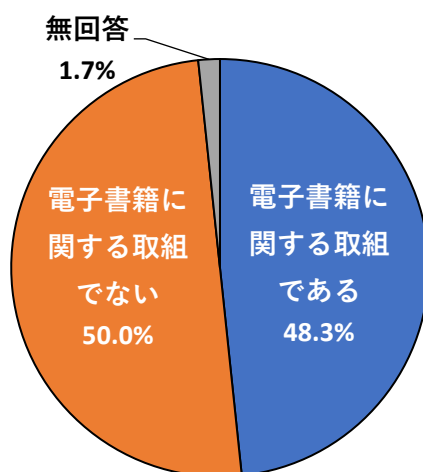


図 2-31 公立図書館での新型コロナウイルスの影響による新たな取組の内容 (n=60)

2-4 電子書籍の活用を子供の読書活動推進につなげている自治体の取組

電子書籍の活用を子供の読書活動推進につなげている公立図書館は、どのような特徴があるのかを分析する。

公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体において、「電子書籍の活用は児童・生徒の読書活動推進につながったと思いますか」という問いに対し、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した自治体と、「どちらでもない・そう思わない」と回答した自治体の比較を行った。

(1) 電子書籍を活用した子供向けの取組

電子書籍を活用した取組の内容をみると、電子書籍の活用が児童・生徒の読書活動推進に「つながった」と回答した自治体は、そうでない自治体に比べ「子供向け電子書籍の充実」「読書活動推進の取組」「特別な配慮を必要とする子供たち向けの電子書籍の導入」「学習・調べもの支援」などの取組を行っている割合が高い。

電子書籍の活用が「児童・生徒の読書活動推進につながった」図書館は、そうでない図書館に比べ、電子書籍を活用した様々な取組を行っている。

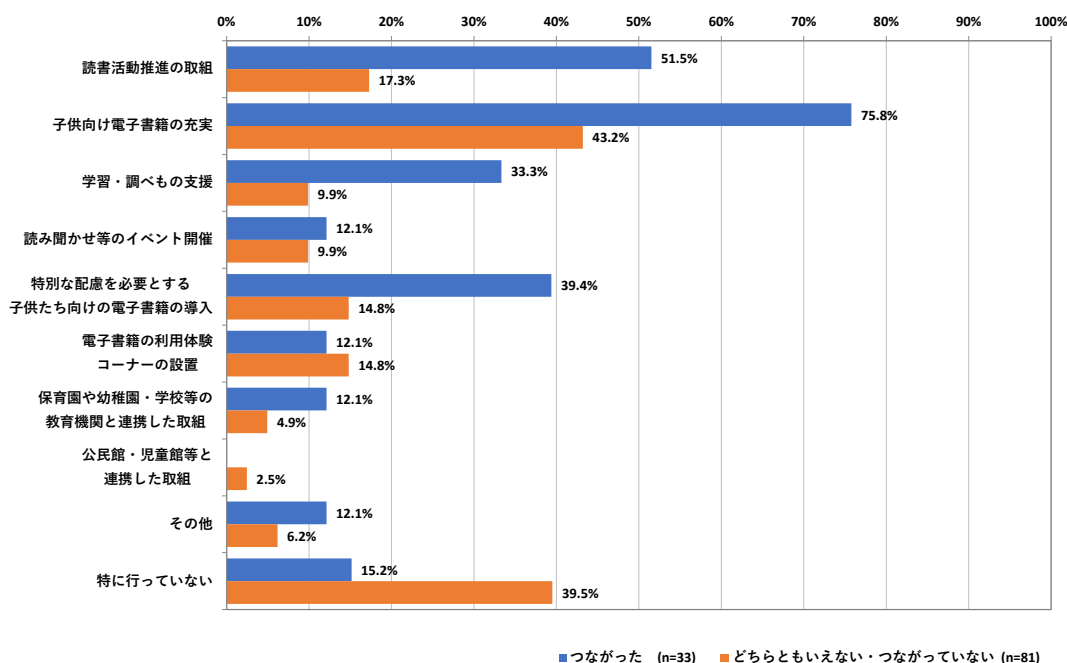


図 2-32 電子書籍活用の成果別 公立図書館による電子書籍を活用した取組

(2)電子書籍の周知方法

電子書籍の周知方法についてみると、電子書籍の活用が児童・生徒の読書活動推進に「つながった」と回答した図書館は、「どちらともいえない・つながっていない」と回答した図書館に比べて多くの方法で電子書籍の周知を行っている。特に、「SNS (Twitter、Facebook等)」の周知方法は前者が5割以上であるのに対し、後者では3割強程度と15ポイント以上の差がある。

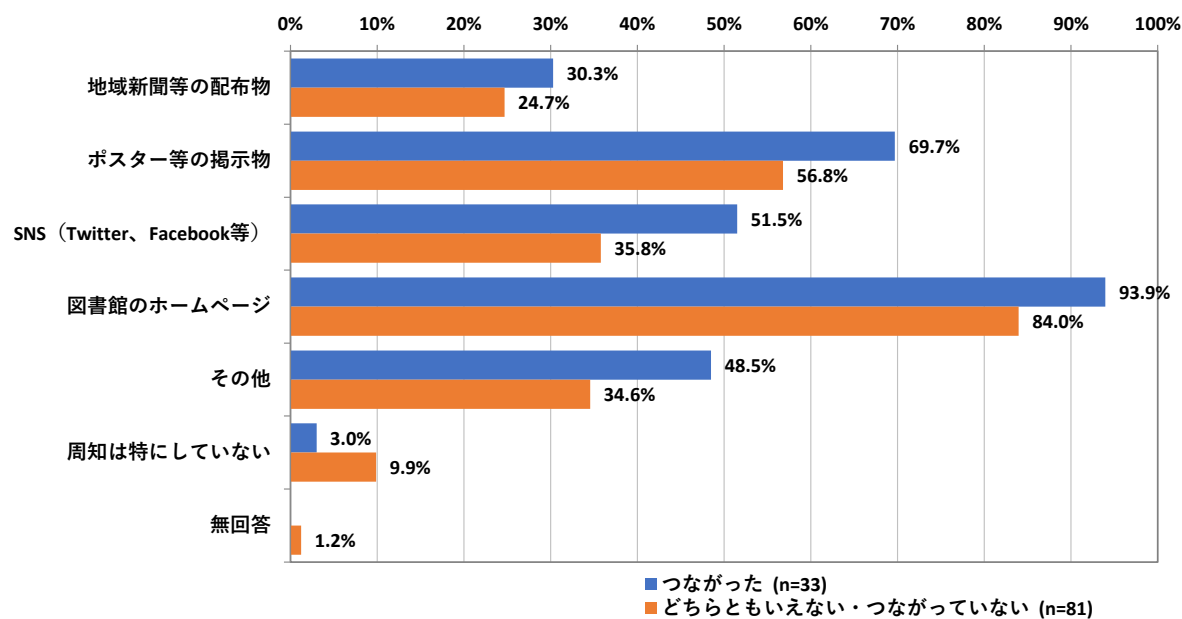


図 2-33 電子書籍活用の成果別 公立図書館における電子書籍を活用した取組の周知方法

(3)電子書籍を活用する年代

電子書籍を活用する年代をみると、電子書籍の活用が児童・生徒の読書活動推進に「つながった」と回答した図書館は、「どちらともいえない・つながっていない」と回答した図書館に比べ、若い年代層が電子書籍を活用していることがわかる。特に、前者の7～8割が「小学生」～「高校生」が利用していると回答しているのに対し、後者はどの年代も5割程度と20ポイント近くの差がある。

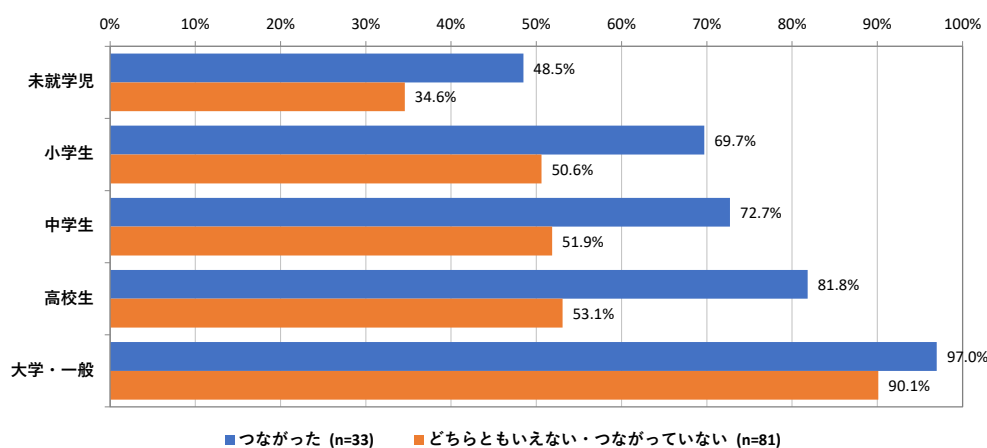


図 2-34 電子書籍活用の成果別 電子書籍を活用する年代

(4)新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルスの影響による電子書籍活用の取組の変化についてみると、電子書籍の活用が児童・生徒の読書活動推進に「つながった」と回答した図書館の8割近くが、「電子書籍の利用者が増加した」と回答している。それと比較して、「どちらともいえない・つながっていない」と回答した公立図書館の回答割合は5割程度にとどまっている。

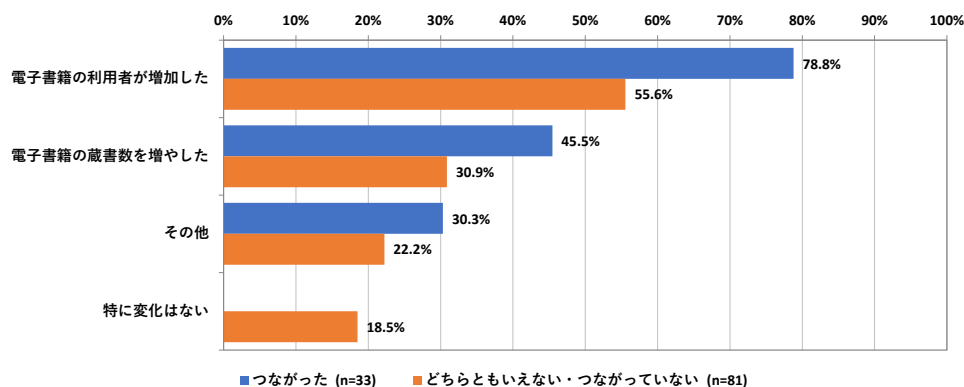


図 2-35 電子書籍活用の成果別 新型コロナウイルスの影響による電子書籍活用の取組の変化

また、新型コロナウイルスの影響を踏まえた子供読書活動の推進についてみると、電子書籍の活用が児童・生徒の読書活動推進に「つながった」と回答した図書館の6割以上が、新型コロナウイルスの影響で「新たな取組を行った」と回答したのに比べ、「どちらともいえない・つながっていない」と回答した図書館の回答割合は3割程度にとどまっている。

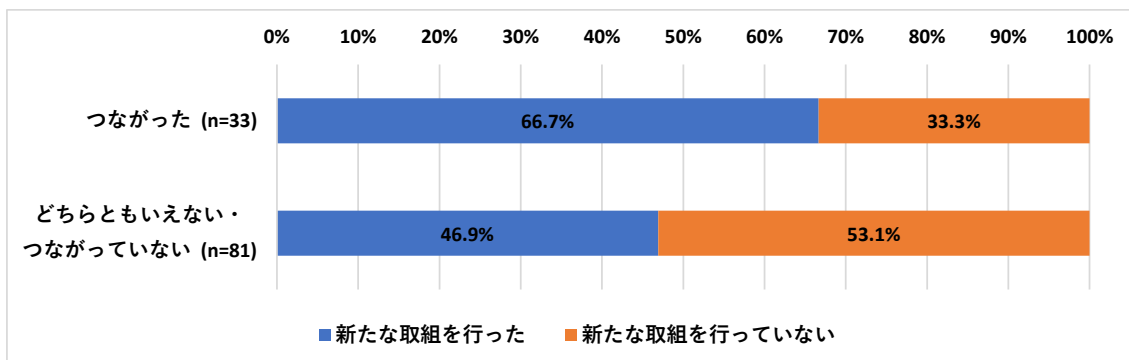


図 2-36 電子書籍活用の成果別 新型コロナウイルスの影響により新たな取組を行った自治体数の比較

さらに、上で示した新たな取組の内容についてみると、電子書籍の活用が児童・生徒の読書活動推進に「つながった」と回答した図書館の7割以上が「電子書籍に関する取組である」と回答している。

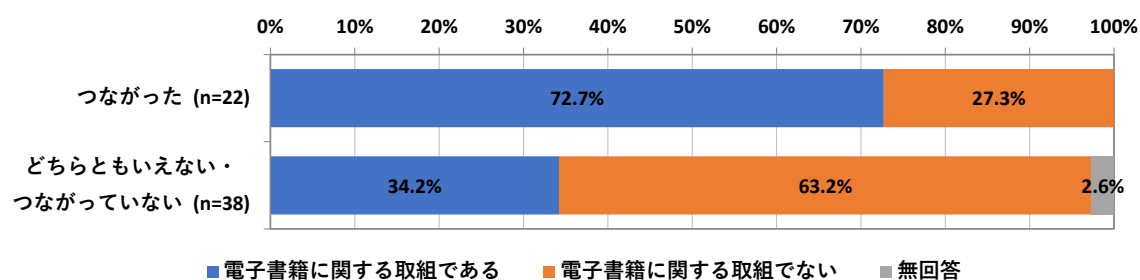


図 2-37 新型コロナウイルスの影響により新たな取組の内容

第3章 読書推進活動の取組事例の紹介

第3章では、文部科学省「子供の読書活動推進に関する有識者会議」等の議論を踏まえて、電子書籍を活用した注目すべき取組を行っている自治体および学校をいくつか抽出し、ヒアリング調査を行った。特に、電子書籍を活用した子供向けの取組を行っている自治体・学校を選定した。

ヒアリング調査を行った自治体・学校の取組事例及びその工夫点は下記のとおり。事例は公立学校、私立学校、公立図書館の順に紹介する。

自治体名	取組名称
■公立学校の電子書籍を活用した取組事例	
事例1：矢板市（栃木県）	学校電子図書館「ともなりライブラリー（矢板市立学校電子図書館）」
事例2：熱海市（静岡県）	学校と連携した電子書籍を活用した取組
事例3：熊本市（熊本県）	コロナ禍における市内小中学校と電子図書館の連携
■私立学校の電子書籍を活用した取組	
事例4：工学院大学附属中学・高等学校	充実したICT環境と授業における電子書籍の積極的な活用
事例5：幼保連携型認定こども園 追手門学院幼稚園	こども園・幼稚園におけるデジタル絵本制作と電子図書館サービスの導入
■公立図書館の電子書籍を活用した取組	
事例6：広島県	青少年のための電子図書館サービス 「With Books ひろしま」
事例7：札幌市（北海道）	子供向け電子書籍制作ワークショップの取組
事例8：高森町（長野県）	高森ほんとも Web-Library
事例9：関市（岐阜県）	児童書の購入や子供向けイベントによる子供の読書推進
事例10：大阪市（大阪府）	子供向けの読書イベントの開催

3-1 矢板市（栃木県）「ともなりライブラリー（矢板市立学校電子図書館）」

●取組のねらい●

小中学生の家読（うちどく）推進

学校の授業での電子書籍利用

●取組の主体●

矢板市教育委員会

3-1-1 取組の沿革・概要

2020年10月に矢板市は、全国初の学校電子図書館「ともなりライブラリー」を開設しました。矢板市ではICT教育に力を入れており、GIGAスクール構想のタブレット端末の配付も2020年9月には完了していました。以前から課題であった、小中学生の自宅での読書量を改善する打開策として、インターネット環境があれば場所や時間を問わずに本が読める電子図書館を学校に導入しようという流れになりました。2021年3月までには、約3,000冊の電子図書のコンテンツを整備します。

3-1-2 取組の具体的内容

学校との連携は、主に図書担当教諭や図書事務員の方とタグを組んで行っています。学校電子図書館導入前には、業者にも協力してもらいながら各学校の図書担当の教諭向けの研修を行いました。学校、保護者、子供たちそれぞれに電子図書館を周知し、理解いただくまでには大変苦労しましたが、学校図書事務員と頻繁に連携を図りながら取組を進めています。

運用開始から3か月ほどで、本の総貸出数は6,000件以上となっています。音が出たり動いたりする絵本は小学生に人気で、追加購入を行っています。学校によって活用の頻度には差がありますが、すべての学校で、クラス単位で時間をとって電子図書館の使い方を指導してくれています。

授業のなかでも、朝読(あさどく)(授業前の読書時間)や国語の時間に電子書籍を活用したり、小学校低学年向けに動く絵本の読み聞かせを行ったという活用事例も聞かれています。

3-1-3 取組の成果と今後の展望

実施期間はまだ長くないですが、子供たちがよく家で電子書籍を読むようになったという声は聞かれます。インターネット環境があれば学校でも家でも本が読めること、また延滞がなく本の破損や劣化がないのも大きなメリットだと感じています。今後は、各学校の『図書だより』を電子化し、学校間で共有したり、ブックトークやビブリオバトルの動画掲載等のイベントの開催を考えています。また、朝読や国語の授業での活用だけでなく、他の教科でも調べ学習等で電子書籍を活用できるよう整備を進め、各授業で使いやすい学校電子図書館にしていきたいと思っています。

3-1-4 工夫

(1)学校の図書担当との強い連携

学校電子図書館の取組は、学校との密な連携が欠かせません。電子図書館導入前には、図書担当の教諭向けに2回、学校図書事務員向けにはさらに頻繁に研修を行いました。選書についても、学校の図書担当の先生を通じて学校側の要望を聞きながら行っています。

(2)人気に応じた書籍の購入

電子書籍ならではの機能を搭載した、音が出たり絵が動いたりする絵本は、予約が数十件になってしまうこともあります。人気の電子書籍は追加購入するなど、子供たちのニーズに応えられるよう購入計画を進めています。



3-2 熱海市（静岡県）「学校と連携した電子書籍を活用した取組」

●取組のねらい●

中高生の不読率の改善

図書館にアクセスしづらい住民へのフォロー

●取組の主体●

熱海市立図書館

3-2-1 取組の沿革・概要

2018年の12月、熱海市では図書館のシステム変更に伴い、2つの柱を掲げて電子書籍を導入しました。1つめは地理的な不便から図書館に来られない方へのフォロー、2つめは現在非常に低い中高生の読書量を改善することです。中高生を主な対象として電子図書館の導入を見据えていたので、最初の選書はライトノベルや学習参考書が中心でした。

3-2-2 取組の具体的内容

電子書籍の貸出の他に、熱海市立図書館は市内の小中学校とも連携し、子供たちの読書推進に取り組んでいます。学校におけるICTの取組と電子図書館の有効利用を目的に、現役の教員を図書館協議会の委員に委嘱しました。その流れで、市内の小学校で音声付きの英語の絵本をタブレットからモニターに映して解説をする試験的な朝読書の取組を行いました。取組は好評で、子供たちが違和感なく電子書籍を見ていたことや、物語が英語で流れているにも関わらず内容を理解していることに驚きました。電子書籍ならではのネイティブの英語音声流れる絵本の読み聞かせは、学校の英語教育が進んでいくなかで、電子書籍を波及できるポイントとなるのではないかと考えています。

3-2-3 取組の成果と今後の展望

小学校での試験的な取組を経て、学校側の電子書籍への理解は進んだという実感を持っています。今後GIGAスクール構想により、タブレットを子供たちが一人一台持つことで電子書籍の可能性は大きく広がっていくと思われれます。一方で、学校側がどのようなルールを設けて電子書籍を扱っていくのが、重要なポイントになると思います。図書館が便利な場所にない中で、すべての子供の読書の環境づくりに電子書籍が大きな役割を果たしてもらえたらと思っています。

3-2-4 工夫

(1) 教員との連携

熱海市立図書館は、教育委員会教職員指導室や学校との連携を深め、現場の声を聞くために現役の先生の意見を図書館協議会で伺っています。協議会委員の先生の小学校で実践した英語絵本の読み聞かせは、子供たちのポジティブな反応もあり、現場の電子書籍に対する意識を変えたと感じています。

(2) 子供たちのリクエストに応じた選書

図書館と学校現場の方針をすり合わせるために、子供たちから電子書籍で読みたい本のリクエストを受けながら選書を進めています。



3-3 熊本市（熊本県）「コロナ禍における市内小中学校と電子図書館の連携」

●取組のねらい●

若年層への読書普及

コロナ禍での読書推進

●取組の主体●

熊本市立図書館

3-3-1 取組の沿革・概要

2019年11月に、熊本市立図書館では電子図書館を導入しました。図書館の利用が減少している若い世代に、活字の楽しさを覚えてもらいたいというねらいがあります。電子図書館のための予算の獲得は大きな課題ですが、2020年はコロナ対策の交付金も得られ、書籍購入やシステム改修の費用に充てることができました。このような交付金・補助金は機会があれば応募するようにしています。

3-3-2 取組の具体的内容

2020年5月から、コロナ禍でも子供が読書を継続できるように、熊本市立小中学校の学校用図書館カードで電子図書館の利用ができるようサービスを拡充しました。既存の図書館システムを学校の図書館カードと連携させるためにはシステムの改修が必要となり、その費用の獲得がもっとも大変なことでした。学校には出来るだけ早く電子図書館を利用してもらいたいという思いがあり、学校にも協力していただいて連休前に児童、生徒及び保護者に周知してもらいました。

本の予約待ちを少しでも緩和できるように人気の本は複数購入し、児童書や絵本についても積極的に選書をおこなっています。今後は、子供に電子書籍をもっと読んでもらうための取組として、電子書籍コンテンツを紹介する配布物の準備をしています。

3-3-3 取組の成果と今後の展望

市立小中学校の学校用図書館カードで電子図書館の利用が可能になったことで、貸出件数は急増しました。コロナの影響で市立図書館は2020年2月末から休館しましたが、電子図書館は利用できたこともあり、同年2月と比べ、5月は約11.6倍の貸出件数となりました。主な要因は小中学生の利用によるものですが、保護者世代の40代の利用も2月の時と

比べ約 6 倍に増えています。

令和 2 年度末までに、小中学校の児童・生徒にタブレット端末が 1 人 1 台配付されることから、今後は読み上げ機能のついた英語のテキストや絵本など授業に役立つコンテンツを揃え、学校図書館を補完する形で電子図書館を活用してほしいと考えています。

3-3-4 工夫

(1)学校図書館との連携

学校用図書館カードが電子図書館で使えるようになったことで、子供たちは新規登録の必要なく、自宅で電子図書館にアクセスして読書が可能になりました。従来の公共図書館の小中学生利用は全体の約 10%ですが、電子図書館は約 40%に上ります。最も利用が多かった層は読書離れが危惧される 13~15 歳の子供たちです。貸出数の多かった書籍も、子供向けの小説や絵本が上位を占めました。

(2)人気本の複数購入

人気のある本は複数購入することで、子供たちが読みたい本を少しでも早く読めるようにしています。電子書籍は延滞処理の必要もないため、通常の書籍よりも早く順番が回ってきやすいというメリットもあります。



3-4 工学院大学附属中学・高等学校（東京都）

「充実した ICT 環境と授業における電子書籍の積極的な活用」

●取組のねらい●

授業利用

生徒の読書推進

●取組の主体●

工学院大学附属中学校・高等学校

3-4-1 取組の沿革・概要

2016年10月～12月の実証実験を経て、2018年5月に工学院大学附属中学校・高等学校の電子図書館がスタートしました。生徒たちはタブレット等の端末を全員が所有しており、時間や場所を選ばずに電子書籍へのアクセスが可能になっています。同校はインタークラスがあり、語学の習得に力を入れているため、洋書やオーディオブックの蔵書が多い、英語機能の充実したサービスを選択しました。電子図書館は、個人の読書利用だけでなく授業の課題など幅広い利活用を見据えて、校内だけでなく校外での利用も可能となっています。

3-4-2 取組の具体的内容

個人で電子書籍を利用するには、一人一人に割り当てられたIDとパスワードを入れてオンライン上の本棚に移動すれば、ワンクリックで借りられる簡単な仕組みになっています。電子書籍の利用を推進するために、電子書籍でも実際の図書館と同じように人気の本のランキングやテーマ別の特集ページを設けて本を紹介する取組をしています。今年のコロナ禍では図書館のバーチャルツアーもオンラインで行いました。

授業内の取組としては、英語科・国語科を中心に電子書籍の活用をすることができます。英語科では、電子書籍の一部を画面に映し、文字をハイライトしたまま音読するなど、電子書籍の特徴を活かした取組を行っています。また、英語科や国語科の授業に加え、同校独自の「デザイン思考」という授業では、電子書籍を読むだけでなく、実際に小説などの作品を作ってお互いに読みあえる形にアップロードする取組も行っています。自分たちも発信者になること、生徒同士で作品を読みあうことを通して、電子図書館だけでなく読書がより身近な存在になると思っています。

3-4-3 取組の成果と今後の展望

実際に電子図書館を導入してから、電子書籍のほうが紙よりも読みやすいと感じる生徒がいることを実感しています。もともと紙の本を読む生徒は、比較的電子書籍も読む傾向にはあると思うのですが、今は日常的に読書をしない生徒を、電子書籍というツールの利点を生かして、どのように読書の取組に導いていくかが課題となっています。今後、利用促進を図っていくためにコンテンツの充実や特集棚を工夫していくことを考えています。また、さらに授業内での活用も進めていきたいです。

3-4-4 工夫

(1)英語機能の充実したサービスを選択

英語科の支持が厚かった OverDrive は、多くの洋書だけでなくリスニングや音読に活用できるオーディオブックの機能が備わっています。洋書は紙だと届くのに時間がかかりますが、電子書籍だとすぐに届くのも魅力。ネイティブの教員にも選書に参加してもらっています。

(2)充実した ICT 環境

校内には無線 LAN を導入し、中学生はタブレット、高校生は BYOD（個人端末）を全員が所有しています。最初に ICT 環境を整えることが、電子図書館導入に向けてもっとも重要なポイントのひとつです。



3-5 幼保連携型認定こども園 追手門学院幼稚園（大阪府）

「こども園・幼稚園におけるデジタル絵本制作と電子図書館サービスの導入」

●取組のねらい●

園児の主体性伸長のきっかけづくり

小学校以上での ICT 活用の予行練習

●取組の主体●

追手門学院

3-5-1 取組の沿革・概要

追手門学院の創立 130 周年にあたり、小中高大学すべてに電子図書館サービスを導入した流れで、2020 年 6 月に併設の幼稚園にも電子図書館システム・LibrariE を導入しました。2020 年 11 月現在の蔵書数は 2 5 5 冊です。保護者は電子図書館のホームページにアクセスすれば、自宅からいつでも簡単に絵本を借りることができ、借りたい本が貸出し中であれば予約も出来ます。

3-5-2 取組の具体的内容

園の主な取り組みは、電子書籍を 60 型の電子黒板に映し出した読み聞かせです。大きな画面で絵や文字も細部まで見られるため、子供たちの反応も非常に良く、預かり保育のような長い保育時間でも子供たちは飽きずに過ごしています。

既成の絵本を読み聞かせるだけでなく、幼稚園の教員はオリジナルのデジタル絵本の制作にも取り組んでいます。2020 年の 1 月には、追手門学院幼稚園の 11 名の教員を対象に、デジタル絵本制作ワークショップを行いました。作ったオリジナル絵本は、実際の保育にも使用しています。例えば歯磨きに興味を持たせるような内容のオリジナル絵本の読み聞かせによって、年少の子供たちは自然に歯を磨くことが出来るようになってきました。園児向けには 2021 年の 6 月頃に同様のワークショップを行う予定です。「学校法人追手門学院 図書・情報メディア部」が学院全体の ICT 活用支援を担っているのです。

3-5-3 取組の成果と今後の展望

デジタル絵本の読み聞かせは、子供たちに好評だっただけでなく、文字が読めるようになるといった教育的な副次効果も見られました。

将来的には、子供たちがただ読み聞かせをしてもらっただけでなく、自分でデジタル絵本を作って下級生に紹介できるようになることや、作った絵本を友達同士で見せあうような活動ができることを目指しています。今の段階ではタブレットで簡単な一枚のスライドを作って自己紹介をしているのですが、発表する側も自信にあふれており、聞いている側も絵や文字があるので、通常の自己紹介よりもよく理解しながら聞いています。子供たちの主体性を伸ばしていくという側面を大事に、電子書籍を活用した保育活動を行っています。

3-5-4 工夫

(1) タブレットでの保育活動

タブレット等の ICT 機器は、2019 年に既に導入しています。子供たちの表現の手段の一環として ICT を自在に使えるようになってほしい、小学校に上がったときに自信を持ってようになってほしいとの意図から、普段からタブレットを用いたお絵描きや調べ学習などの保育活動を行っています。

(2) 「読む」から「作る」へ

実際に絵本を楽しんで作る中で本好きが生まれていくとの思いから、園児向けのワークショップを開催する予定です。そのためにはまず先生が楽しんで絵本を作っている姿を見せることが大事です。幼稚園の教員は、積極的にデジタル絵本制作ワークショップに取り組んでいました。



3-6 広島県立図書館（広島県）

青少年のための電子図書館サービス「With Books ひろしま」

●取組のねらい●

コロナ禍における青少年の心のケアと学びの支援

●取組の主体●

広島県立図書館

3-6-1 取組の沿革・概要

広島県立図書館は、コロナ禍における事業の柱の1つとして、学校の再開後もストレスを抱える子供たちの心のケアと学びの支援を目的に2020年7月29日に電子図書館サービスを導入しました。取組の対象を、中高生を中心とした青少年としたため、子供たち向けの本の取り扱いの多い電子書籍サービスを選びました。従来の図書館の利用カードを持っていれば、そのままログインできるほか、カードがない場合も広島県庁の電子申請システムからIDの申請が可能です。

3-6-2 取組の具体的内容

電子書籍の選書にあたっては、司書がスクールカウンセラーや電子書籍の専門家等に話を伺いながら実施し、普段あまり読書習慣のない子供にも親しめる平易な本や学習漫画なども含め、幅広く購入しました。2020年の夏休みが始まる前には、サービスの開始を学校とメディアの両方を通じて広報を行いました。

広島県立図書館では、電子書籍の貸出のほか、2020年12月から「電子図書館サービス出張体験会」も行っています。広島県内の中学校、高等学校、特別支援学校等を図書館職員が訪問し、生徒たちに電子書籍を実際に体験してもらう試みです。12月中には県内高等学校の4校で体験会を実施しました。

3-6-3 取組の成果と今後の展望

「電子図書館サービス出張体験会」では、普段あまり本になじみがない生徒たちがタブレットで電子書籍を読んでいる様子を見ることができました。また、ジャンル毎に書架が分かれた図書館と異なり、電子書籍は様々なジャンルの本の特集が一度に表示されることから、紙の本ではあまり読んだことのないジャンルの本を読む生徒たちも見られました。

今後、電子図書館サービスが子供たちにとってより身近な存在になるために、電子書籍や、若い世代に親和性の高いSNSを通じた広報など、サービスの認知度を高めるとともに、子供たちの反応や声を電子図書館サービスの向上に反映していきたいと考えています。

3-6-4 工夫

(1)電子申請システムからの図書館ID取得

図書館に来館しなくても、広島県庁の電子申請システムから簡単に図書館IDの申請ができます。インターネットに繋がった端末さえあれば、ID申請から読書まですべて自宅から行うことができます。

(2)「電子図書館サービス出張体験会」

広島県立図書館は、中学校、高等学校、特別支援学校等を訪問して電子書籍を実際に体験してもらう取組を行っています。体験会では、生徒たちがすぐに操作を身につけ、手慣れた様子で、面白そうに本を選んでいる様子が見られました。生徒たちからは、朝読書や通学中の読書に電子書籍を活用したいという声がありました

With Booksひろしまへようこそ！

青少年のための電子図書館
With Books ひろしま へようこそ

テキスト系サイトへ ID・パスワードを新規に取得したい方はこちら

文字の大きさ 大 中 小 背景と文字の色 黒 白 青

ご利用ガイド

資料を探す キーワード検索 検索 + 詳細検索

トップ お知らせ 新着資料 特集 ▼ マイページ

ログイン

利用者ID
パスワード
ログインする

ジャンルで探す

歴史
科学
歴史
社会科
自然科学
技術・工学・工業
産業
芸術・美術
言語
文学
音楽・音声
児童

お知らせ

2020年11月13日 学校向け電子図書館サービス出張体験会の開催の
2020年11月10日 「かがみの影」の予約締切のみなさまへ
2020年9月8日 応募に名前が載る書本文庫について

お知らせをもっと見る

新着資料

動物のことがわかんない!
東 正樹 監修

ありがとう 77言語の「ありがとう」
こたすぎ 著

キミが泣いていたら
清水 光博 作

シブヤから遠く帰れて
忍松 了 著

あたしのあなただけのことば
谷川 俊太郎 詩

3-7 札幌市（北海道）「子供向け電子書籍制作ワークショップの取組」

●取組のねらい●

時代に即した市民サービスの提供

若年層への読書推進

●取組の主体●

札幌市

3-7-1 取組の沿革・概要

札幌市の図書館では、2010年に「第2次札幌市子どもの読書活動推進計画」が策定されたことを受け、「子ども読書チャレンジプロジェクト」として子供の読書活動を推進するための取り組みを開始しました。2016年に札幌市えほん図書館が開館し、未就学児を対象としてタブレット端末を利用した「デジタルえほんワークショップ」を実施。2019年には小学生を対象として、中央図書館でも開催しました。

3-7-2 取組の具体的内容

2019年には、小学生がタブレットを使い、キャラクターやストーリーを自在に組み立ててオリジナルの絵本を作成・発表するイベントを開催しました。イベントでは、子供たちがタブレットをすぐに使いこなしている様子や、子供同士で操作について教えあう場面も見られました。子供たちは夢中になって制作に取り組んでおり、発表の時間が少なくなってしまう程でした。

また、札幌市の図書館では2014年から電子書籍の貸出サービスも行っています。市内の小学校と連携した取組として図書館を利用した進路学習の際に、児童が自分のなりたい職業について調べた内容を4コママンガにまとめたものを電子書籍化し、公開する試みも行いました。

3-7-3 取組による成果と今後の展望

電子書籍を「作る」ことを通じて、子供たちは電子書籍を「読む」ことについても興味を持ってくれていると感じています。現在、コロナ禍で対面でのイベントが難しくなっている状況ですが、オンラインを活用した取り組みなど、工夫して子供の読書活動を支援していきたいと考えています。

コロナ禍で電子図書館は改めて注目されています。2020年の4月は、13～18歳の年齢の利用者数は前年比で4倍以上になりました。若者に人気のライトノベル等も積極的に導入しているので、今まで図書館を利用したことがなくても、電子媒体で本を読んでもみようと思う中高生が増えてくれたらいいと思います。

3-7-4 工夫

(1)子供向けデジタル絵本ワークショップ

本の作り手にも簡単になれるのが電子書籍の魅力。札幌市は、小学生に一人一台タブレットを配布し、オリジナルの電子絵本を作るイベントを行いました。子供たちは夢中になって制作に取り組み、参加者同士の交流も楽しんでいました。

(2)市内学校との連携

市内学校と図書館の連携は強く、これまでも学校の授業の一環で子供たちは図書館に足を運び、イベントの参加や調べ学習などを行っていました。今後は電子書籍を活用した取組についても、学校と連携しながら行いたいと考えています。



3-8 高森町（長野県）「高森ほんとも Web-Library」

●取組のねらい●

若年層への読書普及

●取組の主体●

高森町

3-8-1 取組の沿革・概要

2020年6月、高森町では電子図書館を導入しました。サービスを選ぶ際には、業者のデモンストレーションに図書館協議会委員や学校司書、公共図書館職員、教育委員会事務局が参加し、電子書籍を実際に触って体験をしました。

開始にあたっては青少年を利用対象の中心にすえ、最初に揃えた250点は、主にヤングアダルト向けのコンテンツを選んでいきます。

3-8-2 取組の具体的内容

青少年に電子書籍を読んでもらおうと、ヤングアダルト向けの選書に重点をおくとともに、英語学習にも使えるよう、ネイティブの音読機能があるコンテンツも導入しています。

選書が青少年向けであることから、20代までの若年層の電子図書館の登録率は、全体の40パーセントと高くなっています。また、電子図書館を始めたばかりの数か月は、人気本の上位はつねに青少年向けの書籍で占められていました。

3-8-3 取組の成果と今後の展望

青少年の電子図書館への登録率が高いことから、目的に合わせた選書が若者の読書活動に繋がっていることを感じます。一方、最大の課題は、限られた予算のなかで選書を行うことです。コンテンツの内容が実際の利用率に反映する以上、選書に力を入れていきたいところですが、予算制限のある中で蔵書を増やすことは容易ではありません。

新年度にはGIGAスクール構想による小・中学生の一人一台のタブレット導入に合わせて、学校司書が電子図書館の使い方を授業の中で案内するという計画があります。子ども読書支援センターが機能して、学校と公共図書館の各司書の連携が取れているので、今後そのような試みにも力を入れていきたいと思っています。

3-8-4 工夫

(1) 図書館内に電子書籍体験コーナーを設置

図書館内にタブレットを用意し、電子書籍がいつでも体験できるようになっています。実際に触って体験することで、電子書籍がより身近に感じられることを目的にしています。

(2) ヤングアダルト向けコンテンツの選書

電子書籍を若年層に普及させたいという思いから、ヤングアダルト向けのコンテンツを中心に選書。その甲斐もあり、10～20代の電子図書館利用率は、当館の従来の図書館利用と比べ高くなっています。中には、高校生同士の口コミで、電子図書館の登録のために来館するというケースもありました。



3-9 関市（岐阜県）「児童書の購入や子供向けイベントによる子供の読書推進」

●取組のねらい●

若年層の読書推進

子供たちの英語教育への活用

●取組の主体●

関市教育委員会

3-9-1 取組の沿革・概要

2018年2月に、関市では電子図書館を開始しました。若者がもっと読書に親しめる環境を作るためにも、図書館になかなか来られない人たちのためにも、電子図書館が役立つと考え、導入を決めました。電子書籍のサービスは、子供たちの英語教育に生かせそうなサービスを選びました。図書館カードとは別に、電子図書館用のIDとパスワードを発行することで、電子図書館が利用できます。図書館にはWi-Fiが通っていて、館外・館内ともに貸出可能です。

3-9-2 取組の具体的内容

電子書籍の導入時の蔵書数は89冊でしたが、2020年12月現在、蔵書は5000冊を超えています。新しく購入する図書は、司書が利用状況を見ながらその都度購入をしています。最近では講談社の児童向け小説である青い鳥文庫の人気の本を入れたことで、子供の利用が伸びました。

図書館では、本の貸出のほかに電子書籍関連のイベントも行っています。親子向けには、英語の絵本を日英両言語で読み聞かせを行いました。電子書籍に収録された英語の読み上げに続き、司書が日本語で読むという取組です。また、図書館で行われた地域のイベントで電子書籍体験コーナーを設けたところ、子供たちが電子書籍を楽しそうに操作している様子が見られました。その日のうちに電子書籍の登録をしてくれた人も多く、イベントの効果を感じています。

3-9-3 取組の成果と今後の展望

子供たちに人気の本を購入したり、イベントを行うことで、子供たちの電子書籍の利用が増えるという実感があります。館内で使えるタブレットが10台ほど置いてあります。今後

は、子供たちが来た時にいつでも貸し出したり、操作の体験ができるようにしたいと思っています。将来的に、子供たちが1人1台タブレットを持った時に、新しい電子書籍の情報交換をしてもらえるような日が来るよう、図書館として読書推進の工夫をしていきたいと思っています。

3-9-4 工夫

(1)学校電子図書館サービス

関市では、学校と連携して「学校電子図書館」というサービスも行っています。関市内の小中学校の各学年に1つずつIDを配布し、朝の読書活動や読み聞かせ等の活動で電子書籍を活用してもらっています。まだ蔵書数は少ないですが、今後授業等でも電子書籍を活用してもらえたらと考えています。

(2)人気本の購入

関市では、司書が電子書籍の利用状況を検証しながら、電子書籍の追加購入をしています。時代小説が人気であれば時代小説を増やし、季節の料理本が人気であれば冬には鍋の特集を組んでみようといった具合です。同様に、人気の児童書も入れたことで子供の利用率が高まっています。



3-10 大阪市（大阪府）「子供向けの読書イベントの開催」

●取組のねらい●

時代に即した市民サービスの提供

若年層への読書推進

●取組の主体●

大阪市

3-10-1 取組の沿革・概要

2007年～2010年にかけて「知識創造型図書館改革」の取組の一環として、大阪市立図書館は、2012年に電子書籍のシステムを導入しました。電子書籍サービスの契約時は3つのサービスを比較検討し、知識創造型の図書館として最もコンセプトが合致するサービスを選びました。当初はまだ電子書籍が浸透しておらず、利用者の方の端末はPCがメインでした。導入時にはNHKのニュースや雑誌『関西ウォーカー』等にも取り上げていただくなど、非常に多くの方に興味をもっていただけました。

3-10-2 取組の具体的内容

大阪市立図書館では、子供向けの取組の一つとして、クイズを通して電子図書館の機能を知ってもらうイベントや、小中学生を対象とした電子図書館の活用講座を年に100回近く実施しています。

市内の学校と連携しながら、電子書籍を活用した子供の英語学習を推進する取組も同時に行っています。図書館の職員が学校に出向いたり、図書館で開催する講座に参加してもらい、ネイティブの音読や大画面に本を映す機能など、電子書籍ならではの機能を児童や生徒、教職員にPRしています。以前、英語科のある市内の高校で、電子書籍を紹介したところ、その日のうちに来館して利用登録をしてくれた生徒が何人もいました。その後も電子書籍関連の講座を続けた結果、夏休みなどに英語学習を目的として電子書籍を利用してくれる生徒が増えています。

3-10-3 取組の成果と今後の展望

小中学生向けの電子書籍の活用講座では、子供たちが端末を楽しみながら使ってくれている様子が見られます。ただ、ふだんから来館していても、電子書籍の実際の利用につなげ

するためには、どのようなコンテンツがあるか、どのように操作するかきめこまかな説明が必要だと感じています。紙の本と同じように、電子書籍でもティーンズ向けのコーナーを設けたり、人気本のランキングやおすすめ本リストをポスターで貼り出すなどの工夫し、今後も子供たちの読書に繋がる取組を積極的にやっていきたいと思えます。

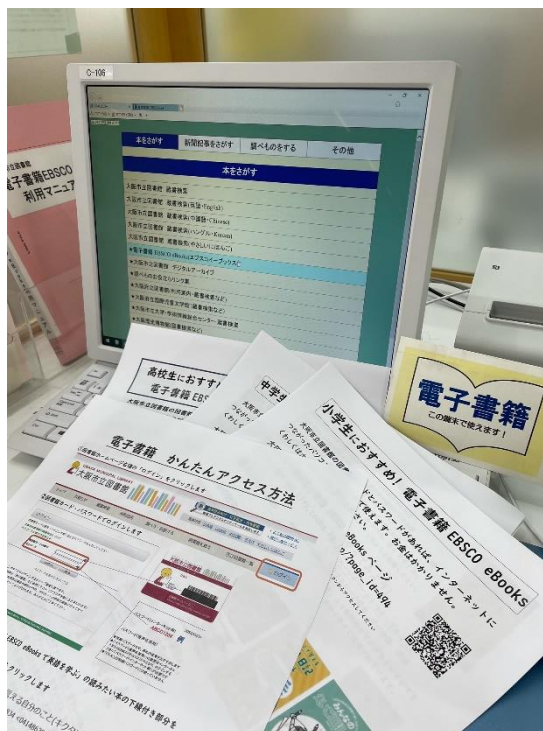
3-10-4 工夫

(1)積極的な子供向け読書イベント

大阪市立図書館では、子供の読書推進に向けたイベントを積極的に実施しています。電子書籍を用いたクイズや講座だけでなく、子供が漫才コンビを組んで本を紹介する「書評漫才」という大阪ならではの取組も行っています。

(2)電子書籍を活用した英語学習の推進

電子書籍にはネイティブの音読機能など、英語学習に活かせる機能があります。大阪市教職員用ポータルサイトに電子書籍のお知らせを掲載したり、職場体験等の場を利用して直接説明を行うなどの取組を進めて、子供たちの学習において電子書籍という選択肢が身近になってほしいと思えます。



第4章 まとめ

これまでの調査結果を踏まえて、今後子供の読書活動において電子書籍を活用した取組を推進するためのポイントを考察する。

4-1 アンケートからみる子供の読書活動における電子書籍の導入状況

4-1-1 電子書籍を活用した取組の実施状況

アンケートの調査結果から、子供の読書活動推進計画を定めている自治体のうち、電子書籍を活用した取組について記載のある自治体の割合は8.3%にとどまることがわかった（図 2-2 参照）。また、子供の読書活動推進として「電子書籍を活用した取組を行っている」割合は8.2%であった（図 2-5 参照）。現状では、全国の自治体の1割弱が、今後子供の読書活動において電子書籍を活用した取組を推進していることがわかる。

具体的な取組は「公立図書館の設備や蔵書の充実」「公立図書館の利用増大」「特別な配慮を必要とする子供たち向けの電子書籍の導入」「子供が本に触れるきっかけづくり」などとなっている（図 2-6 参照）。また、取組の主体は、「公立図書館」である。

4-1-2 公立学校における電子書籍の導入状況

現在公立学校に電子書籍を導入している自治体の割合は2.0%で、今後導入を予定している自治体の割合は1割程度である（図 2-9 参照）

公立学校で電子書籍の導入を予定している自治体が、電子書籍を使って予定している取組内容をみると、「調べ学習・朝読書など教育の場面での活用」の回答割合が高い（図 2-11 参照）。一方で、電子書籍の導入の課題は、「電子書籍導入の予算が不足している」「電子書籍導入に関する知識が不足している」の割合が高い（図 2-12 参照）。

以上の点から、公立学校が予算不足・知識不足により電子書籍への対応が遅れていることがわかる。今後、GIGA スクール構想によって導入された一人一台のタブレット端末を、どのように子供の読書推進の活用につなげていくのが課題となる。

4-1-3 公立図書館における電子書籍を活用した取組の状況

(1)取組状況

現在公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体の割合は9.8%で、今後電子書籍の

貸出を予定している自治体の割合は3割程度である（図 2-14 参照）。

公立図書館で電子書籍の貸出を予定している自治体が、電子書籍の貸出予定について感じている課題は「電子書籍導入の予算が不足している」が最も高く、次いで「適当な電子書籍のコンテンツがない・少ない」である（図 2-18 参照）。

公立図書館で電子書籍の貸出をすでに行っている自治体において、電子書籍を活用した子供向けの取組をみると「子供向け電子書籍の充実」の回答割合が高い。電子書籍を活用した取組の周知方法は「図書館のホームページ」「ポスター等の掲示物」の割合が高い（図 2-21 参照）。一方で、電子書籍を活用した取組の課題は「適当な電子書籍のコンテンツがない・少ない」の割合が高い（図 2-25 参照）。

電子書籍の活用が児童・生徒の読書活動推進につながったと感じた割合は、3割程度であった（図 2-24 参照）。

(2)新型コロナウイルスの影響

公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体が、新型コロナウイルスの影響を受けて「新たな取組を行った」と回答した割合は5割を超えた（図 2-30 参照）。そのうち半数が「電子書籍に関する取組」であった（図 2-31 参照）。

なお、新型コロナウイルスの流行前（2020年1月）と流行後（2020年7月）の1か月間の電子書籍貸出冊数の合計を聞いたところ、流行前の貸出冊数の平均が326冊だったのに対し、流行後は約700冊と倍以上に増加している（図 2-29 参照）。

4-1-4 効果的な電子書籍を活用するための工夫点

公立図書館で電子書籍の貸出を行っている自治体のうち、電子書籍の活用が子供の読書活動の推進に「つながっている」と回答した自治体は、そうでない自治体に比べて、公立図書館で「子供向け電子書籍の充実」「読書活動推進の取組」「特別な配慮を必要とする子供たち向けの電子書籍の導入」「学習・調べもの支援」など、電子書籍を活用した様々な取組を積極的に行っていることがわかった（図 2-33 参照）。

また、電子書籍の活用が子供の読書活動の推進に「つながっている」場合は、ポスターや SNS 等、幅広い方法を用いて電子書籍の周知を行っている。さらに、新型コロナウイルスの影響を踏まえて電子書籍に係る新しい取組を積極的に行っていることも明らかになった。

このことから、電子書籍を活用した取組において成果を出している公立図書館は、電子書籍を導入し、様々な取組を実施することで、子供の読書活動推進に好感触を得ていることが推測される。

4-2 先進事例からみる電子書籍導入・活用のポイント

電子書籍を活用した取組を行っている公立図書館や学校への事例調査から、電子書籍導入・活用のポイントとして次のような工夫点があげられる。

4-2-1 電子書籍を「作る」「触る」「体験する」

電子書籍の貸出だけでなく、図書館内のタブレットの設置や、地域のイベントで電子書籍が体験できるコーナーを設けるなど、子供たちが電子書籍にいつでも触れられる環境を整えることで、子供たちの電子書籍への興味・関心を引き出している事例が多くみられる。また、オリジナルの電子書籍や電子絵本を作るイベントなどに取り組む自治体や教育機関もあった。

4-2-2 公立図書館と学校の連携

公立図書館と学校が連携し、いつでも子供たちが電子書籍に触れられる環境を整え、電子書籍の普及を進めた例も多くみられた。例えば、「市内小中学校の学校図書カードで電子図書館の利用ができるようシステムを改修」「図書館の職員が学校を訪問し、電子書籍の使い方についてレクチャーを行う」などの取組があげられる。

4-2-3 電子書籍に簡単にアクセスできるような工夫

図書館の開館時間を問わずに、電子書籍にアクセスできるように、自治体のシステムから電子図書館のID申請ができるようにしている例もある。

4-2-4 コンテンツ不足問題への対応

アンケートでも課題になっていたコンテンツ不足問題については、絵が動く電子絵本や、英語の読み上げ機能のある洋書など、電子書籍ならではの機能がある蔵書を充実させて対応している事例が見られる。

4-2-5 予算不足問題への対応

電子書籍の導入を予定する自治体にとって特に大きな課題である予算不足の問題については、コロナ関係の交付金や、その他の助成金に積極的に応募して電子書籍の運営費に充てた事例が見られた。

第5章 アンケート調査票

令和2年度「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」アンケート調査票は次のとおり。

シート1

令和2年度 子供の読書活動の推進等に関する調査研究 調査票

【ご協力のお願い】

このたび、文部科学省では「令和2年度 子供の読書活動の推進等に関する調査研究」を実施することになりました。調査結果は、文部科学省において今後の子供の読書活動推進のための取組の参考とさせていただきます。つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力をお願い申し上げます。なお、アンケートの集計などの取りまとめについては、民間の調査研究機関「株式会社リベルタス・コンサルティング」が実施いたします。

〈御依頼事項〉

- ・本調査票は「読書活動推進のご担当者様」にお渡しいたしますよう、お願いいたします。ご回答が複数の部署に関わる場合は、本調査票を関連部署にご確認の上、ご担当者様に取りまとめていただくようお願いいたします。
- ・本調査票のシート2は「公立図書館の担当者様」にご回答いただけますよう、お願いいたします。
- ・ご記入が終わりましたら、11月27日(金)までに、下記のメールアドレスまでご返信ください。

回答用アドレス: dokusvo@libertas.co.jp
 ※提出ファイル名:「〇〇県●●市.xlsx」とご変更をお願いします。適宜、県の部分は都・道・府に、市の部分は町・村に直してください。

回答用アドレス:

〈回答上の注意〉


- ・調査は、シート1「2」の2種類がございます。全てにご回答願います。
- ・ご回答いただいた内容のうち、個人情報については、一切公開しません。

〈用語の定義〉

- ・本調査において図書館とは①図書館法第2条に規定する図書館、②図書館法第29条に規定する図書館同種施設のうち、地方公共団体が独立した組織として設置しているものを指すこととします。※公民館等、他の施設に付属する図書室・資料室は対象外です。
- ・電子書籍:本調査において「電子書籍」とは、電子機器(PC、kindleなどの電子書籍専用端末、iPadなどのタブレット端末、スマートフォン等)の画面で読むことができる書籍等を指します。(CD-ROM等で再生できる書籍は除いてください。電子書籍の活用について、有償・無償は問いません。)
- ・不読率:1か月に一冊も本を読まない子供の割合を指します。

【調査主体】
文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課

【調査実施】
調査事務局(株式会社リベルタス・コンサルティング内)
担当者: 傍島、小林、八田
E-mail: dokusvo@libertas.co.jp
TEL: 0120-575-332(月～金 10:00～17:00)



0. 自治体情報、回答者情報をご記入ください(ご回答をとりまとめて頂いた方の連絡先をご記入ください)

自治体	都道府県名	
	市区町村名	ご記入ください
回答者	部署名	ご記入ください
	ご役職	ご記入ください
	お名前	ご記入ください
	お電話番号	ご記入ください
	メールアドレス	ご記入ください

基本情報	当該自治体が設置する教育機関の数	幼稚園・保育園	ご記入ください	校	特別支援学校	ご記入ください	校
		小学校	ご記入ください	校	義務教育学校	ご記入ください	校
		中学校	ご記入ください	校	中等教育学校	ご記入ください	校
		高等学校	ご記入ください	校			
	当該自治体が設置する公立図書館の数	ご記入ください					館
不読率	子供の不読率を独自に調査している場合、直近の不読率をご記入ください。(直近で調査した年度の結果をご回答ください。不明な場合はご記入いただく必要はありません)						%
	上記の調査年度をご記入ください						年度調査

シート1

◆すべての自治体にお伺いします。

問1. 貴自治体では子供の読書活動推進計画(以下、「計画」とする)を策定していますか。
(あてはまる番号一つを回答欄にご記入ください)

- 1 策定済み(計画期間が経過している場合も含む)(→問2へお進みください)
- 2 現在、具体的に策定作業を進めている(→問4へお進みください)
- 3 策定するか否かについて検討中(→問4へお進みください)
- 4 策定の予定はない(→問4へお進みください)

回答欄

◆問1において、1「策定済み(計画期間が経過している場合も含む)」と回答した自治体にお伺いします。

問2. 貴自治体の計画には、電子書籍を活用した子供の読書活動推進についての記載がありますか。
(あてはまる番号一つを回答欄にご記入ください)

- 1 記載がある(→問3へお進みください)
- 2 記載はない(→問4へお進みください)

回答欄

◆問2において、1「記載がある」と回答した自治体にお伺いします。

問3. 計画には、電子書籍を活用した取組として、どのような内容を記載していますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

●学校図書館	●公立図書館
<input type="checkbox"/> 1 電子書籍の導入	<input type="checkbox"/> 7 電子書籍の導入
<input type="checkbox"/> 2 電子書籍の充実	<input type="checkbox"/> 8 子供向け電子書籍の充実
<input type="checkbox"/> 3 読書活動推進の取組	<input type="checkbox"/> 9 子供向けの読書活動推進の取組
<input type="checkbox"/> 4 学習・調べもの支援	<input type="checkbox"/> 10 子供向けの学習・調べもの支援
<input type="checkbox"/> 5 読み聞かせ等のイベント開催(電子書籍を大型スクリーン等に映した読み聞かせ活動等)	<input type="checkbox"/> 11 読み聞かせ等のイベント開催(電子書籍を大型スクリーン等に映した読み聞かせ活動等)
<input type="checkbox"/> 6 特別な配慮を必要とする子供たち*向けの電子書籍の導入	<input type="checkbox"/> 12 特別な配慮を必要とする子供たち*向けの電子書籍の導入
	<input type="checkbox"/> 13 電子書籍の利用体験コーナーの設置
	<input type="checkbox"/> 14 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)

※障害や言語の違い等により、特別な配慮を必要とする子供

シート1

◆すべての自治体は、以下の問4・問5をお答えください。

問4. 計画の有無にかかわらず、①【貴自治体で子供の読書活動推進として力を入れていること】、②【①のうち電子書籍を活用している取組】があれば、選択肢からご回答ください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

①【貴自治体で子供の読書活動推進として力を入れていること】

②【①のうち電子書籍を活用している取組】

①	②	●読書の普及	①	②	●公立図書館における取組
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 子供が本に触れるきっかけづくり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16 公立図書館の利用増大
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2 子供の読書時間の増大、読書の習慣化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17 公立図書館の設備や蔵書の充実
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 子供の発達段階に応じた取組の充実	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18 読書に関するボランティア等の活用
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4 普段、本を読まない中学生・高校生等を対象とした取組の充実	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19 読書に関するボランティア等の育成
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 特別な配慮を必要とする子供たち*向けの電子書籍の導入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20 司書等の専門人材の育成
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21 プログラム(行事・集会等)の工夫・充実
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
		●学校における取組			●地域等への働きかけ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 授業や朝の読書活動等における読書活動の推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23 家庭における読書の推進
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8 読書活動年間計画の策定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	24 読み聞かせや読書活動についての、保育所・幼稚園等の保護者への啓発
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9 読書活動推進体制の構築	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	25 地域全体の読書意識の向上に向けた啓発やイベント等の開催
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 学校図書館の設備や蔵書の充実	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	26 自治体内の多様な部局と連携した取組の推進
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11 読書に関するボランティア等の活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	27 地域内の多様な主体と連携した取組
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12 読書に関するボランティア等の育成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	28 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13 司書教諭・学校司書等の専門人材の育成			●上記以外
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14 学校司書の配置	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	29 上記以外の取組
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)			(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	30 取組は何も行っていない

問5. 問4の②(電子書籍を活用している取組)でお答えいただいたことで、特筆すべき取組があれば名称と内容をご記入ください。
 ※問4で「30 取組は何も行っていない」を選択された場合は、取組名称の欄に「特になし」とお書きください。

取組名称	ご記入ください			
開始時期	元号	年	月	
実施主体(あてはまる番号すべてに○をつけてください)				
●教育委員会		●首長部局		
<input type="checkbox"/>	1 青少年教育担当部署	<input type="checkbox"/>	15 子育て担当部署	
<input type="checkbox"/>	2 文化・スポーツ担当部署	<input type="checkbox"/>	16 青少年担当部署	
<input type="checkbox"/>	3 (上記以外の)社会教育担当部署	<input type="checkbox"/>	17 文化・スポーツ担当部署	
<input type="checkbox"/>	4 (上記以外の)学校教育担当部署	<input type="checkbox"/>	18 社会教育部局	
<input type="checkbox"/>	5 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)	<input type="checkbox"/>	19 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)	
●その他教育機関等		●民間団体等		
<input type="checkbox"/>	6 公立図書館	<input type="checkbox"/>	20 社会福祉法人、社団法人、財団法人等	
<input type="checkbox"/>	7 幼稚園・認定こども園	<input type="checkbox"/>	21 ボランティア	
<input type="checkbox"/>	8 保育所等(児童福祉施設)	<input type="checkbox"/>	22 NPO	
<input type="checkbox"/>	9 小・中学校	<input type="checkbox"/>	23 民間企業	
<input type="checkbox"/>	10 高等学校	<input type="checkbox"/>	24 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)	
<input type="checkbox"/>	11 特別支援学校			
<input type="checkbox"/>	12 義務教育学校			
<input type="checkbox"/>	13 中等教育学校			
<input type="checkbox"/>	14 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)			
内容	ご記入ください			

シート1

II 管轄の公立学校における電子書籍を活用した子供読書活動推進の取組状況

◆すべての自治体にお伺いします。

問6. 貴自治体管轄の公立学校の電子書籍の導入状況について選択肢からご回答ください。
(あてはまる番号1つを回答欄にご記入ください)

1	すべての公立学校で電子書籍を導入している (→問8へお進みください)	4	現在公立学校では電子書籍を導入していないが、実施を検討中 (→問7-1へお進みください)
2	一部の公立学校で電子書籍を導入している (→問8へお進みください)	5	公立学校で電子書籍を導入する予定はない
3	現在公立学校では電子書籍を導入していないが、今後行う予定が具体的に (→問7-1へお進みください)	6	その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)

回答欄

◆問6において、3「現在公立学校では電子書籍を導入していないが、今後行う予定が具体的に
ある」または4「現在公立学校では電子書籍を導入していないが、実施を検討中」と回答した自治体は問7-1～問7-3をお答えください。

問7-1. 貴自治体管轄の公立学校で、電子書籍を導入する予定時期を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけ、詳細をご記入ください)

1	決まっている場合	<input type="text" value="元号"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
2	未定					

問7-2 貴自治体管轄の公立学校で、電子書籍を使って今後予定している子供読書活動推進の取組について選択肢からご回答ください。
(あてはまる番号すべてに○をつけ、詳細をご記入ください)

<input type="checkbox"/>	1	学校図書館での貸出
<input type="checkbox"/>	2	調べ学習・朝読書など教育の場面の活用 <input type="text" value="ご記入ください"/>
<input type="checkbox"/>	3	その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
<input type="checkbox"/>	4	未定

問7-3. 貴自治体管轄の公立学校で、電子書籍の導入予定について課題と感じられていることがあれば、選択肢からご回答ください。
(あてはまる主な項目に○をつけてください ※最大3つまで)

<input type="checkbox"/>	1	電子書籍導入の予算が不足している	<input type="checkbox"/>	8	適当な電子書籍のコンテンツがない・少ない
<input type="checkbox"/>	2	電子書籍の著作権や出版社等との契約が複雑でよくわからない	<input type="checkbox"/>	9	利用者からのニーズがわからない
<input type="checkbox"/>	3	学校側のICT環境(Wi-Fi、タブレット端末等)が整備されていない	<input type="checkbox"/>	10	電子書籍貸出時のルール策定が難しい
<input type="checkbox"/>	4	利用者側(教職員・児童生徒等)のICT環境(Wi-Fi、タブレット端末等)が十分ではない	<input type="checkbox"/>	11	機器の故障や利用トラブルの対処がうまくできていない
<input type="checkbox"/>	5	電子書籍関連のシステムを管理する人材が確保できていない	<input type="checkbox"/>	12	電子書籍の周知・広報がうまくできていない
<input type="checkbox"/>	6	電子書籍導入に関する知識が不足している	<input type="checkbox"/>	13	電子書籍の運用・管理が煩雑である
<input type="checkbox"/>	7	電子書籍貸出サービスを選択する場合の基準がわからない	<input type="checkbox"/>	14	その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
			<input type="checkbox"/>	15	課題と感じていることは特にない

シート1

◆問6において、1「すべての公立学校で電子書籍を導入している」または2「一部の公立学校で電子書籍を導入している」と回答した自治体は問8をお答えください。

問8. 貴自治体管轄の公立学校は、電子書籍を用いてどのようなことをしているか具体的にご記入ください

開始時期	元号		年		月
内容 (例:学校図書での貸出、朝読書等)	ご記入ください				

**未回答の項目があります。
黄色で色掛けされている質問はすべてご回答くださいますよう、お願いいたします。**

シート2(公立図書館ご担当者様)もご回答ください。

※公立図書館ご担当者様にご回答ください※

III. 公立図書館における電子書籍を活用した子供読書活動推進の取組状況

◆公立図書館を設置している自治体にお伺いします。

問9. 貴自治体の公立図書館における電子書籍の貸出状況について選択肢からご回答ください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1 すべての公立図書館で電子書籍の貸出を行っている (→問12-1へお進みください)	4 現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、実施を検討している (→問10-1へお進みください)
2 一部の公立図書館で電子書籍の貸出を行っている (→問11へお進みください)	5 公立図書館で電子書籍の貸出を行う予定はない
3 現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、今後行う予定が具体的に (→問10-1へお進みください)	6 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)

→ 回答欄

◆問9で、「③現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、今後行う予定が具体的にある」または「④現在公立図書館では電子書籍の貸出を行っていないが、実施を検討している」と回答した自治体は、問10-1～問10-3にお答えください。

問10-1. 貴自治体の公立図書館で、電子書籍の貸出を開始する予定時期を教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけ、詳細をご記入ください)

1 決まっている場合	令和	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
2 未定					

問10-2. 貴自治体の公立図書館で、電子書籍を使って今後予定している子供読書活動推進の取組について選択肢からご回答ください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<input type="checkbox"/> 1 読書活動推進の取組	<input type="checkbox"/> 5 電子書籍の利用体験コーナーの設置
<input type="checkbox"/> 2 子供向け電子書籍の充実	<input type="checkbox"/> 6 保育園や幼稚園・学校等の教育機関と連携した取組
<input type="checkbox"/> 3 読み聞かせ等のイベント開催(電子書籍を大型スクリーン等に映した読み聞かせ活動等)	<input type="checkbox"/> 7 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
<input type="checkbox"/> 4 特別な配慮を必要とする子供たち*向けの電子書籍の導入	<input type="checkbox"/> 8 特に行っていない

*障害や言語の違い等により特別な配慮を必要とする子供

問10-3. 貴自治体の公立図書館で、電子書籍の貸出について課題と感じられていることがあれば、選択肢からご回答ください。
(あてはまる主な項目に○をつけてください※最大3つまで)

<input type="checkbox"/> 1 電子書籍導入の予算が不足している	<input type="checkbox"/> 8 適当な電子書籍のコンテンツがない・少ない
<input type="checkbox"/> 2 電子書籍の著作権や出版社等との契約が複雑でよくわからない	<input type="checkbox"/> 9 利用者からのニーズがわからない
<input type="checkbox"/> 3 現在、電子書籍に対応した図書館システム(電算システム)ではなく、システム更新年度を待つ必要がある	<input type="checkbox"/> 10 電子書籍貸出時のルール策定が難しい
<input type="checkbox"/> 4 利用者のICT環境の整備(WiFi,タブレット等)が十分ではない	<input type="checkbox"/> 11 機器の故障や利用トラブルの対処がうまくできていない
<input type="checkbox"/> 5 電子書籍関連のシステムを管理する人材の確保できていない	<input type="checkbox"/> 12 電子書籍の周知・広報がうまくできていない
<input type="checkbox"/> 6 電子書籍導入に関する知識が不足している	<input type="checkbox"/> 13 電子書籍の運用・管理が煩雑である
<input type="checkbox"/> 7 電子書籍貸出サービスを選択する場合の基準がわからない	<input type="checkbox"/> 14 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
	<input type="checkbox"/> 15 課題と感じていることは特になし

シート2

◆問9で、「②一部の公立図書館で電子書籍の貸出を行っている」と回答した自治体にお伺いします。

問11. 貴自治体が設置する、電子書籍の貸出を行っている公立図書館の数(図書館同種施設を含む)をご記入ください。

ご記入ください	館
---------	---

◆問9で、「①すべての公立図書館で電子書籍を導入している」または「②一部の公立図書館で電子書籍を導入している」と回答した自治体は、問12-1～問12-14にお答えください。

問12-1. 貴自治体の公立図書館が最初に電子書籍の導入を開始した時期および令和元年度の総貸出冊数をご回答ください。
 ※電子書籍を今年度に入力した場合は、導入時から回答時点までの総貸出冊数をお答えください。
 ※わからないところは「不明」とご記入ください。貸出がない場合は「0」をご記入ください。

電子書籍導入開始時期	元号	年	月		
年間総貸出冊数(児童用図書)	ご記入ください	冊	年間総貸出冊数(児童用図書以外)	ご記入ください	冊
【うち、電子書籍】 年間総貸出冊数(児童用図書)	ご記入ください	冊	【うち、電子書籍】 年間総貸出冊数(児童用図書以外)	ご記入ください	冊

※視聴覚資料(CD、DVDなど音楽・映像資料)は除きます。ただし、録音図書等の視覚障害者用の資料は含みます。
 ※「児童用図書」は平成30年度社会教育調査(文部科学省)と同じ考え方で計上してください。(おおむね小学生を対象とする図書。)

問12-2. 貴自治体の公立図書館では、電子書籍を活用した子供向けの取組を行っていますか。行っている取組を選択肢からご回答ください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<input type="checkbox"/>	1 読書活動推進の取組	<input type="checkbox"/>	6 電子書籍の利用体験コーナーの設置
<input type="checkbox"/>	2 子供向け電子書籍の充実	<input type="checkbox"/>	7 保育園や幼稚園・学校等の教育機関と連携した取組
<input type="checkbox"/>	3 学習・調べもの支援	<input type="checkbox"/>	8 公民館・児童館等と連携した取組
<input type="checkbox"/>	4 読み聞かせ等のイベント開催(電子書籍を大型スクリーン等に映した読み聞かせ活動等)	<input type="checkbox"/>	9 その他(<input style="width: 100px;" type="text" value="ご記入ください"/>)
<input type="checkbox"/>	5 特別な配慮を必要とする子供たち*向けの電子書籍の導入	<input type="checkbox"/>	10 特に行っていない

※障害や言語の違い等により特別な配慮を必要とする子供

問12-3. 上記の電子書籍を活用した子供向けの取組について詳細をご記入ください。

※特にない場合は、内容のところに「特になし」と記入してください。

開始時期	元号	年	月
内容	ご記入ください		

シート2

問12-4. 貴自治体の公立図書館では、電子書籍を活用した取組をどのように周知をしていますか。選択肢からご回答ください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<input type="checkbox"/>	1 地域新聞等の配布物	<input type="checkbox"/>	4 図書館のホームページ
<input type="checkbox"/>	2 ポスター等の掲示物	<input type="checkbox"/>	5 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
<input type="checkbox"/>	3 SNS(Twitter, Facebook等)	<input type="checkbox"/>	6 周知は特にしていない

問12-5. 貴自治体の公立図書館では、どの年代が電子書籍を利用しますか。選択肢からご回答ください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<input type="checkbox"/>	1 未就学児
<input type="checkbox"/>	2 小学生
<input type="checkbox"/>	3 中学生
<input type="checkbox"/>	4 高校生
<input type="checkbox"/>	5 大学・一般

問12-6. 貴自治体のすべての公立図書館が提供している電子書籍の各コンテンツについて、すべての図書館が所有している合計の蔵書冊数を数字でご記入ください。
※わからないところは「不明」とご記入ください。
※所蔵がない資料は「0」をご記入ください。

		蔵書冊数	
<input type="checkbox"/>	1 学習参考書	<input type="text" value="ご記入ください"/>	冊
<input type="checkbox"/>	2 児童書(絵本含む)	<input type="text" value="ご記入ください"/>	冊
<input type="checkbox"/>	3 図鑑・年鑑	<input type="text" value="ご記入ください"/>	冊
<input type="checkbox"/>	4 辞書・辞典	<input type="text" value="ご記入ください"/>	冊
<input type="checkbox"/>	5 地元資料の書籍	<input type="text" value="ご記入ください"/>	冊
<input type="checkbox"/>	6 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)	<input type="text" value="ご記入ください"/>	冊

問12-7. 貴自治体の公立図書館では、電子書籍の活用は児童・生徒の読書活動推進につながったと思いますか。選択肢からご回答ください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<input type="checkbox"/>	1 とてもそう思う
<input type="checkbox"/>	2 そう思う
<input type="checkbox"/>	3 どちらとも言えない
<input type="checkbox"/>	4 そう思わない
<input type="checkbox"/>	5 まったくそう思わない

→ 回答欄

問12-8-1. 貴自治体が行っている電子書籍を活用した取組において課題と感じられることがあれば、選択肢からご回答ください。

(あてはまる主な項目に○をつけてください ※最大3つまで)

<input type="checkbox"/>	1 電子書籍導入の予算が少ない	<input type="checkbox"/>	8 利用者からのニーズがわからない
<input type="checkbox"/>	2 電子書籍の著作権や出版社等との契約が複雑	<input type="checkbox"/>	9 電子書籍貸出時のルール策定が難しい
<input type="checkbox"/>	3 現在、電子書籍に対応した図書館システム(電算システム)ではなく、システム更新年度を待つ必要がある	<input type="checkbox"/>	10 機器の故障や利用トラブルの対処がうまくできていない
<input type="checkbox"/>	4 利用者のICT環境の整備(Wifi,タブレット等)が十分ではない	<input type="checkbox"/>	11 電子書籍の周知・広報がうまくできていない
<input type="checkbox"/>	5 電子書籍関連のシステムを管理する人材の確保が難しい	<input type="checkbox"/>	12 電子書籍の運用・管理が煩雑である
<input type="checkbox"/>	6 電子書籍導入に関する知識が不足している	<input type="checkbox"/>	13 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
<input type="checkbox"/>	7 適当な電子書籍のコンテンツがない・少ない	<input type="checkbox"/>	14 課題と感じていることは特にな

シート2

問12-8-2. 上記で選択した課題について、何か工夫していることや、具体的な対応を行っていることがありましたら、お答えください。

(あてはまる番号に○をつけ、詳細をご記入ください)

<input type="checkbox"/>	1 対応している		
<input type="checkbox"/>	問12-8-1の 課題番号	<input type="text"/>	対応 <input type="text" value="ご記入ください"/>
<input type="checkbox"/>	2 特別に対応はしていない		

問12-9. すでに行っている取組以外で、電子書籍を活用した子供読書活動推進の取組として、今後やってみたいことがあれば選択肢からご回答ください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<input type="checkbox"/>	1 読書活動推進の取組	<input type="checkbox"/>	6 電子書籍の利用体験コーナーの設置
<input type="checkbox"/>	2 子供向け電子書籍の充実	<input type="checkbox"/>	7 保育園や幼稚園・学校等の教育機関と連携した取組
<input type="checkbox"/>	3 学習・調べもの支援	<input type="checkbox"/>	8 公民館・児童館等と連携した取組
<input type="checkbox"/>	4 読み聞かせ等のイベント開催(電子書籍を大型スクリーン等に映した読み聞かせ活動等)	<input type="checkbox"/>	9 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
<input type="checkbox"/>	5 特別な配慮を必要とする子供たち*向けの電子書籍の導入	<input type="checkbox"/>	10 特にない

※障害や言語の違い等により特別な配慮を必要とする子供

問12-10. 貴自治体の公立図書館では、新型コロナウイルスの影響によって電子書籍活用の取組に変化がありましたか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<input type="checkbox"/>	1 電子書籍の利用者数が増加した	<input type="checkbox"/>	3 その他(<input type="text" value="ご記入ください"/>)
<input type="checkbox"/>	2 電子書籍の蔵書数を増やした	<input type="checkbox"/>	4 特に変化はない

問12-11. 貴自治体の公立図書館の、新型コロナウイルスの流行前(2020年1月)と流行後(2020年7月)の一个月間の電子書籍貸出冊数の合計を数字でご記入ください。

※2020年1月時点で電子書籍を導入していない場合は「なし」とご記入ください。

流行前	<input type="text" value="ご記入ください"/>	冊	流行後	<input type="text" value="ご記入ください"/>	冊
-----	--------------------------------------	---	-----	--------------------------------------	---

問12-12. 貴自治体の公立図書館では、新型コロナウイルスの影響を踏まえた子供読書活動の推進に関して、何らかの新たな取組を行いましたか？

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<input type="checkbox"/>	1 新たな取組を行った
<input type="checkbox"/>	2 行っていない

(問12-12で「1 新たな取組を行った」を選択した場合はご回答ください)

問12-13. その新たな取組は電子書籍に関するものですか。電子書籍に関する取組の場合は、具体的な取組内容をご記入ください。

<input type="checkbox"/>	1 電子書籍に関する取組である (<input type="text" value="ご記入ください"/>)
<input type="checkbox"/>	2 電子書籍に関する取組ではない